

平成 22 年 度

履 修 の 手 引

文化教育学部	学 籍 番 号	氏 名
課程		

佐 賀 大 学 文 化 教 育 学 部



目 次

I はじめに	1
II 学部の教育目的および課程別教育目的と教育目標	2
III 開講科目の設置趣旨	4
IV 教 育 課 程	5
1 カリキュラムの構成	5
2 学年進行と科目履修	5
3 卒業に必要な単位数表	6
4 単 位 制 度	7
5 授 業	7
6 履 修 手 続	8
7 定 期 試 験	8
8 成績評価及び通知	8
9 不正行為	8
V 教養教育科目	9
1 教養教育科目	10
2 教養教育科目の履修方法及び履修上の注意事項	14
(1) 学部・課程の学籍番号及び記号	14
(2) 大学入門科目の履修方法	14
(3) 共通基礎教育科目の履修方法	14
(4) 主 題 科 目 の 履 修 方 法	17
(5) 九州地区国立大学間合宿共同授業	18
(6) 追 試 験	18
(7) 再 試 験	18
(8) 外国語科目、健康・スポーツ科目及び情報処理科目の再履修・指定外履修について ..	19
3 共通専門教育科目	20
4 平成 22 年度教養教育運営機構時間割表	21
VI 専門教育科目	23
1 課程・選修のクラス分け	23
2 追 試 験	23
3 再 試 験	23

VII	諸手続について	24
1	履修等に関する手続	24
2	証明書の発行手続	24
VIII	教育免許状と教育実習	25
1	教員免許状	25
2	教育実習	26
IX	教員免許状と介護等体験実習について	31
X	教員免許状以外の資格について	33
XI	留学生交流支援制度（短期派遣）について	34
XII	専門教育科目の開設授業科目表について	36
◇	表を見るときにの諸注意	36
	専門教育科目の開設授業科目表	37
付録	教養教育講義室等配置図	
	文化教育学部各棟の配置図	
	学年暦及び年間行事予定表	

I はじめに

この冊子は、これからいつどのような授業を受講していけば、最終的に本学部および本学部の各課程が掲げる教育目標に到達し、無事卒業することができるかということの指針となるものです。

本学部では、広い視野と豊かな情操を持ち、学校現場や社会の諸場面における様々な問題に的確に対応できるような質の高い教師、国際社会で活躍できる人材、地域社会の中核として活躍できる人材、あるいは、芸術の担い手となる人材の育成を目指しています。

本学部は、学校教育課程、国際文化課程、人間環境課程、美術・工芸課程の4つの課程から構成されています。各課程においては、さらに次のような目標があります。

学校教育課程においては、「社会的、国際的に広い視野と教養をもった教員の養成」が目標です。また特に、「複雑で深刻な現在の教育問題をその社会的および歴史的な背景と原因、現代社会に特有な心理学的要因等をふまえて正しく理解し、それに対応できる教員の養成」を目指しています。国際文化課程では、「広い国際的視野に立って文化の価値を産み出していく力を身につけ、国内外で活躍できる人材の育成」が目標です。人間環境課程では、「地球にやさしい、人にやさしい、健康に快適な生活を実現させるための力を身につけ、情報化、国際化、高齢化といった生活環境の急激な変化に対応できる人材の育成」に力点をおいています。また美術・工芸課程では、「地域・言葉・習慣の垣根を越え、一人ひとりの心に強く訴え、それがひとつのコミュニケーションとなる美術・工芸の特性を生かして、特に地域を含む様々な伝統や文化を継承し、加えて、九州の伝統工芸の核となることを目指し、我々の日常をより洗練させていくことができるような人材の育成」を目標にしています。また美術・工芸課程は「地域の伝統を受け継いでさらに活躍できるような優秀な造形作家の養成」や「企業で活躍する人材や教育者の育成」の場ともなっています。

このような目標を達成するために文化教育学部では、「現代教育論」、「教育心理学」、「国際文化論」、「生活文化論」など学部共通の専門基礎科目、各課程の共通必修科目、さらに選修ごとの専門科目など様々な科目が開講されています。本冊子は、その中からどのような時期にどのような科目を履修（りしゅう、受講して習い修めること）しなければならないのかという資料をまとめたものなので、「履修の手引」という表題がついています。（注：この「履修の手引」は4年間を見通して編集されています。卒業時まで大切に扱ってください。また内容に変更がある場合もあります。そのような場合には、各講義期間のはじめに学生センター掲示板に掲示される予定になっています。）

この冊子以外に、「学生便覧」、「文化教育学部シラバス」、「文化教育学部履修モデル」なども入学時に同時に配布される予定です。たとえば「文化教育学部シラバス」は、「シラバス」とよばれる「講義の概要をまとめたもの」で、1年生用の前学期開講科目のみ（1年次後学期以降の開講科目は、ホームページで参照予定）をまとめた冊子です。これらの資料を十分活用して、充実した学業生活になることを期待しています。

Ⅱ 学部の実育目的および課程別実育目的と実育目標

1 佐賀大学文化教育学部の実育目的

本学部は、学校教育課程、国際文化課程、人間環境課程及び美術・工芸課程により構成し、各々の課程の持つ特質を融合させたカリキュラムを整え、特定の専門知識に偏らない「総合知」を有する人材を育成することを目的とする。

各課程の実育目的

本学部の各課程の目的は、次に掲げるものである。

(1) 学校教育課程

社会的、国際的に広い視野と教養を持ち、教科内容、教育方法等について幅広く学び、教育実習の充実・高度化を通して、学校教育現場の諸問題に的確に対応できる教員を育成すること。

(2) 国際文化課程

文系専門分野に関する幅広い学識を持ち、徹底した外国語教育を通して、豊かな語学力と幅広い国際的視野を備える人材を育成すること。

(3) 人間環境課程

心身の成長と特性、地域の生活と文化及び環境の理論と技術に関する幅広い学識を身に付け、より豊かな生活を実現するための主導的役割を果たすことができる人材を育成すること。

(4) 美術・工芸課程

美術・工芸分野の理論・実践について学び、あわせて当該分野の実育について考究することを通して、美術教育者若しくは造形作家として、又は企業等において活躍できる人材を育成すること。

2 各課程の実育目標

(1) 学校教育課程

(1-1) 実育目標

学校教育課程は、複雑で深刻な現在の教育問題の社会・歴史的背景や原因、さらにその心理的要因を理解し、それに対応できる教員を養成する。

(1-2) 各選修の実育目標

教育学選修

学校の教育活動を支える様々な理論や実践のほか、子どもや教育を取り巻く幅広い理論を理解し、現代の実育上の諸問題にも的確に対応できる視野の広い教育者を養成する。

教育心理学選修

カウンセリング・マインドをもった教員を養成する科目を設定し、いじめや不登校、暴力など、学校で起こる教育上の問題を敏感に把握し、対応できる教員を養成する。

障害児教育選修

特別支援学校や小・中学校などで実施される特別支援教育を担うのに十分な授業能力を持った教員を養成する。この目標のために、障害児(者)支援に必要な知識と特別支援教育の実践的な指導方法を身につけさせる授業科目を設定する。

教科教育選修

授業実践能力を持った教員を養成するための授業科目を設定し、様々な原因による学業困難児に対しても対応できるような授業実践能力をもった教員を養成する。

理科選修、数学選修

理数離れを防ぐため、理数教育能力をもった教員を養成するための科目を設定し、理数に対する深い知識を有し、自然科学への興味と正しい理解の仕方を子供へ教育できる教員を養成する。

音楽選修

音楽を通じて、しなやかな感性を育成し、向上心につながる謙虚な学習態度を持つ子どもに育つよう教育できる教員を養成する。

(2) 国際文化課程

(2-1) 教育目標

国際文化課程では、広い国際的視野に立って文化の価値を産み出していく力を身につけ、国内外で活躍できる人材を育成する。

(2-2) 各選修の教育目標

日本・アジア文化選修、欧米文化選修

- ① 国際社会の理解能力を養成するための科目を設定し、国際人としての資質を形成する。
- ② 英語だけではなく、ドイツ語・フランス語・中国語・朝鮮語を選択履修させ、外国語運用能力を高める。
- ③ 様々な場におけるコミュニケーション的指導能力、深い洞察と分析に基づいた企画力・実践力を養成する。

(3) 人間環境課程

(3-1) 教育目標

人間環境課程では、地球にやさしい、人にやさしい、健康に快適な生活を実現させるための力を身につけ、情報化、国際化、高齢化といった生活環境の急激な変化に対応できる人材を育成する。

(3-2) 各選修の教育目標

生活・環境・技術選修

- ① 人間生活の質的向上に資する企画立案能力や情報処理能力の強化を図る。
- ② 環境の自然科学的基礎だけでなく、環境と行政や法律との関わりを学ばせ、幅広い観点から環境問題を理解させる。

健康福祉・スポーツ選修

- ① 教員及び地域における指導者としてスポーツ・身体運動に関する専門的な知識と実践能力の獲得を図り、スポーツ指導者としての専門家を育成する。ボランティア活動、福祉関係科目の充実をはかり社会福祉の専門識者を養成する。
- ② 生活問題の解決を具体的に援助できる能力を持った人材を育成する。

美術・工芸課程

(4-1) 教育目標

- ① 美術・工芸の基本的な考えを理解し、幅広い視点から造形活動を考えることが出来る基礎的な思考を養う。また、造形教育者に必要な資質の涵養にも努める。
- ② 造形教育者、造形作家、及び企業で活躍する人材を育成する。

Ⅲ 開講科目の設置趣旨

文化教育学部の特設教育科目は、特設基礎科目と特設科目から構成されている。

(1) 特設基礎科目

文化と教育の融合を図るという文化教育学部の理念を実現するための科目であるとともに、特設分野を学修する上で、その基礎になる科目として設置されている。そのため、本学部全員にとって必修および選択必修の科目としている。

(2) 特設科目

課程共通科目、学校教育科目又は教育科目、特設外国語科目、情報処理科目、選修科目、自由選択科目及び卒業研究から構成されている。

◇課程共通科目は、各課程の趣旨・特色を活かすため、所属する課程の学生が特設の素養として共通にもっておくべき学力を育てるための科目として設置されている。そのため、各課程毎に履修すべき科目が定められていて、所属する課程の学生全員が履修することとしている。

◇学校教育科目は、学校教育課程の学生が、そして教育科目は、美術・工芸課程の学生が、それぞれ必修として履修しなければならない科目として設置している。各課程の目的に合った教育的素養を育てるための科目である。

◇特設外国語科目は、全課程の学生にとって必修の科目で、外国語の運用能力を育てるため設定している。

◇情報処理科目は、人間環境課程の学生にとって必修の科目で、情報処理能力の強化のため設定している。

◇選修科目は、各選修の特色を表す科目であり、その選修分野の主体をなす科目として設定している。必修科目と選択科目からなっており、選択科目は、めざす能力を高めるために各自で計画的に選択できるようにになっている。

◇自由選択科目は、全学部の特設教育科目の中から各自の興味にしたがって選択できる科目として設定している。そのため、この自由選択科目に配当された単位数は、教員免許状取得のための科目を履修する際に利用することもできる。

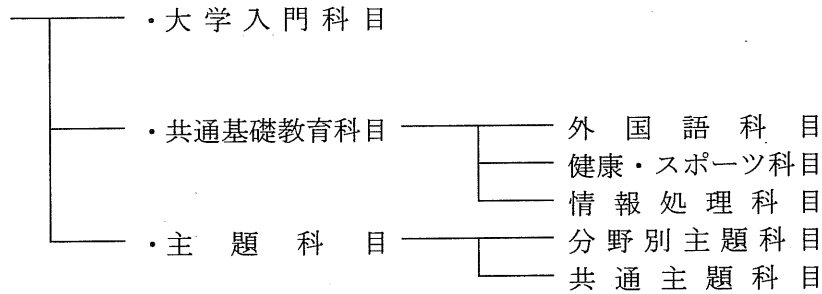
◇卒業研究は、4年間にわたる学修の集大成にあたるもので、4年次の1年間を通して研究するために設定している。この卒業研究履修条件として、3年次の前学期修了までに74単位を修得していることという条件が課せられている。履修条件を満たした者は、所定の手続きにより、3年次の1月20日までにテーマと指導教員を決め、このテーマに基づいて計画的に卒業研究（論文、制作、演奏など）を進めることになる。

※履修モデルは、別冊を参照のこと。

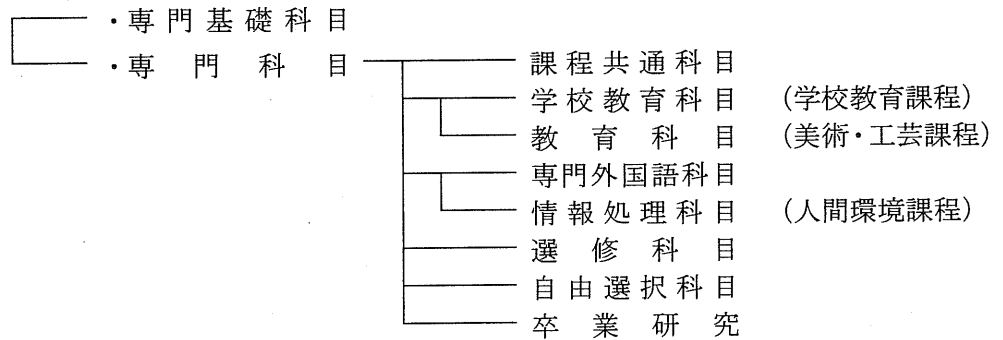
IV 教育課程

1 カリキュラムの構成

[教養教育科目]



[専門教育科目]



2 学年進行と科目履修

4年一貫学習だからといって、何をいつ学んでもいいとはいえません。学問を学ぶには、一定の順序にしたがって一步一步前進するほうがいいのです。

大学入門科目は、1年次前学期に履修します。

共通基礎教育科目のうち、健康・スポーツ科目と情報処理科目は1年次に履修し、外国語科目は2年次まで履修することになっています。

主題科目と専門教育科目は、並行して4年間で学べるようになっています。

次の図は、学年進行の模式図です。

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専 門 教 育 科 目				
				大 学 入 門 科 目
				健康・スポーツ科目
				情 報 処 理 科 目
外 国 語 科 目		主 題 科 目		

3 卒業に必要な単位数表

別表Ⅰ（第4条第1項関係）

課程・選修		教 養 教 育 科 目						専 門 教 育 科 目											合 計
		大 学 入 門 科 目 (必修)	共通基礎 科 目			主題 科目		専 門 基 礎 科 目 (必修)	専 門 科 目									小 計	
			外 国 語 科 目 (必修)	健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 目 (必修)	情 報 処 理 科 目 (必修)	分 野 別 主 題 科 目 (必修)	共 通 主 題 科 目 (必修)		専 門 基 礎 科 目 (必修)	課 程 共 通 科 目 (必修)	学 校 教 育 科 目 又 は 教 育 科 目 (必修)	専 門 外 国 語 科 目 (必修)	情 報 処 理 科 目 (必修)	選 修 科 目		自 由 選 択 科 目 (選択)	卒 業 研 究 (必修)		
														(必修)	(選択)				
学 校 教 育 課 程	教育学選修	2	4	4	3	20	33	6	6	57	2		8	8	10	4	101	134	
	教育心理学選修	2	4	4	3	20	33	6	6	57	2		12	8	6	4	101	134	
	障害児教育選修	2	4	4	3	20	33	6	6	57	2		8	10	8	4	101	134	
	教科教育選修	2	4	4	3	20	33	6	6	57	2		6	10	10	4	101	134	
	数 学 選 修	2	4	4	3	20	33	6	6	57	2		12	10	4	4	101	134	
	理 科 選 修	2	4	4	3	20	33	6	6	57	2		16	8	2	4	101	134	
	音 楽 選 修	2	4	4	3	20	33	6	6	57	2		14	6	6	4	101	134	
国 際 文 化 課 程	日本・アジア文化選修	2	4	4	3	20	33	6	4		12		16	22	25	6	91	124	
	欧米文化選修	2	4	4	3	20	33	6	4		12		12	26	25	6	91	124	
人 間 環 境 課 程	生活・環境・技術選修	2	4	4	3	20	33	6	4		2	4	12	39	18	6	91	124	
	健康福祉・スポーツ選修	2	4	4	3	20	33	6	4		2	4	17	34	18	6	91	124	
美術・工芸課程		2	4	4	3	20	33	6	4	4	2		24	25	20	6	91	124	

4 単位制度

大学における授業科目履修上の単位というものは、学生がある授業科目を履修したとき、教員が履修の目的が達成されたと認定した場合に与えられるものです。その学生を信頼するという意味のものです。

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容で構成することを標準とし、授業の方法に応じて、教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮し、次の基準により単位数が定められています。

なお、本学における1校時分の授業は原則として90分（1コマ）で、これを2時間分の授業とみなします。

- ① 講義は毎週1時間15週の授業をもって1単位とします。

ただし、基準どおりにできないとき、又は必要があるときは、毎週1時間半又は2時間15週の授業をもって1単位とします。

- ② 演習は毎週1時間15週の授業をもって1単位とします。

ただし、基準どおりにできないとき、又は必要があるときは、毎週2時間15週の授業をもって1単位とします。

- ③ 実験、実習及び実技については、毎週2時間15週の授業をもって1単位とします。

ただし、基準どおりにできないとき、又は必要があるときは、毎週3時間15週の授業をもって1単位とします。

45時間の学修をもって1単位とする単位制度の標準によれば、毎週1コマの講義で2単位を得るためには、その授業に関連して毎週2コマ分の自学自習が必要だということになります。

教養教育運営機構で開講される授業科目の単位は、次の方法によります。

- | | | |
|--------------------|-------|--|
| ① 大学入門科目 | | } 毎週90分（1コマ）15週の授業で2単位
ただし、主題科目の中の実験科目は、
毎週180分（2コマ）15週の授業で2単位 |
| 健康・スポーツ科目（講義又は演習） | | |
| 情報処理科目（講義） | | |
| 主 題 科 目 | | |
| ② 外国語科目、情報処理科目（演習） | | 毎週90分（1コマ）15週の授業で1単位 |
| ③ 健康・スポーツ科目（実習） | | 毎週90分（1コマ）15週の授業で1単位 |

5 授 業

1日の授業は、下の表のように5校時で実施されます。

校時	区分	授 業 及 び 試 験
I		8：50～10：20
II		10：30～12：00
昼 休 み		
III		13：00～14：30
IV		14：40～16：10
V		16：20～17：50

1つの授業科目の授業は、週に1回（一部は週に2回）行われ、1学期（15週間）で完結するように編成されています。ただし、教育効果などを考慮して、1年間（30週間）で完結するように編成されているものもあります。これを一般的に通年の授業とよんでいます。

また、夏休み期間などに、短期間（4～5日）で集中して行う授業（集中講義）などもあります。

授業時間割を発表した後に、曜日、校時又は教室を変更する場合がありますので、常に掲示を見るように注意してください。なお、集中講義の授業時間割表は、別途掲示されます。

6 履修手続

授業科目の履修にあたっては、学期の始めに授業時間割表が配布されますので、これによって履修計画を具体的に立てることになります。開設されている授業科目の中には、履修の順序、条件、隔年開講のもの及び選択の仕方が示されている場合があります。

また、指定されたクラス（指定クラス）で授業を受けなければならないものと、自由に選択したクラス（選択クラス）で授業を受けてよいものとがありますので、クラス編成に注意する必要があります。

開設授業科目表の各項目をよく検討し、また、掲示による履修指導に十分注意して、誤りなく履修計画を立てるようにしてください。

卒業や教員免許状及び各種の資格取得のためには、単位数だけではなく、それぞれ定められた枠組のあることにも注意が必要です。

履修細則などに従い各自の履修計画を十分検討した上で、各学期始めの所定の期限までに、履修カードを担当教員に提出するとともに、履修手続を終えなければなりません。なお、集中講義の履修手続は、別に行う必要があります。

履修手続を終えた後に履修データの確認期間が設けられ、履修科目の確認、変更の手続きができるようになっています。これは省略することのできない重要な手続ですので、十分注意してください。

なお、履修方法等が間違っていると、たとえ履修しても単位は無効になるので、不明な点などは事前に教務担当へ照会し、間違いのないようにしてください。

7 定期試験

定期試験は年間2回の学期末に実施され、その時間割表は、定期試験の1週間前に掲示されます。なお、授業科目によっては定期試験を行わずに、レポート等を課される場合があります。

8 成績評価及び通知

① 成績判定は、平素の学修状況、出席状況、学修報告、論文及び試験等によって行われます。

なお、成績の評価は、秀、優、良、可及び不可で表され、不可は不合格となります。

② 成績は、各自で掲示された所定の期間に確認するようになっています。

9 不正行為

（定期試験における不正行為）

学生が定期試験において不正行為をしたときは、当該学生がその定期試験期間中に受験したすべての試験科目の成績を無効とします。

(実験等における不正行為)

学生が実験、実習、学修報告、論文又は平素の試験等において不正行為をしたときは、当該実験、実習、学修報告、論文又は平素の試験等に係る科目の成績を無効とします。

V 教 養 教 育 科 目

佐賀大学の目的は、次のように定められています。

「佐賀大学は、教育基本法に則り、国際的視野を有し、豊かな教養と深い専門知識を生かして社会で自立できる個人を育成するとともに、高度の学術的研究を行い、さらに、地域の知的拠点として、地域及び諸外国との文化、健康、社会、科学技術に関する連携交流を通して学術的、文化的貢献を果たすことにより、地域社会及び国際社会の発展に寄与する。」(佐賀大学学則第2条)

さらに、教養教育の目的は、次のように考えられています。

「① 民主社会の市民としての幅広く深い教養及び創造的な知性と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するための教育、②地域社会、国際社会に開かれた大学として、異文化や多様な価値観を理解し、人や自然との共生を推し進めるための教育、③課題探求能力と情報の分析・発進能力をもった国際的人材を育成するための教育」

これを学生諸君の側からみれば、大学の修学期間は、民主的な社会にあって幅広い創造的な知性、豊かな人間性と深い専門的知識をもった国際感覚のある市民となるための大事な基礎をつくる時期ということになります。ボーダーレスといわれる現代社会にあっては、小学校の時から大学までの直線的な教育期間だけが学ぶ時期ではありません。生涯学習といわれるように、学ぶということは、大学卒業後においても、人生の大事な事業の一部であり続けます。大学の修学期間は、生涯学習の一つの基礎づくりの期間とも言えるのです。

学部・学科・課程毎に選抜を行う本学の入学試験制度のもとでは、学生諸君は、自分の選んだ分野の専門の知識を身につけて社会にその位置を定めたいと考えていると思います。その意味で、学生諸君は、自己の所属する分野の専門科目を学ぶ内的動機を持っています。しかし、狭い専門の知識だけでは、境界を変容させつつ発展する現代社会では、十分な対応が難しいと思われます。例えば、現代科学技術が持つプラスの面とマイナスの面の両面を見極めて対処するには、幅広い視野が要求されます。民主的な社会の優れた市民であるためには、経済や政治の動きに無関心であってはならないでしょう。的確な専門の知識とともに創造的な知性、豊かな人間性と国際感覚を身につけることの意義がそこにあります。しかし、そのための勉強が単に単位を修得するためというようなことであってはなりません。ここでも内的動機づけが大きな意味を持ちます。そこで、本学では、専門の科目を1年次から学習できるようにするとともに、教養的な科目を高学年でも学ぶことができるようにしています。以下、本学の教育課程の構成、各教育科目の役割、何年次生の時、何を学ぶのかという教育課程の学年進行等について説明します。

1 教養教育科目

教養教育科目は、大学入門科目、共通基礎教育科目及び主題科目から編成されています。これらの科目は、本学の教育課程の大きな特徴をなしています。

(1) 大学入門科目

大学入門科目は、全学部において必修であり、1年次の前期において学習します。この科目は、比較的少人数で、一方的な講義形式にならないように工夫され、高校時代の勉学方法から大学での勉学方法への転換を助けることを目的としています。授業は、学生諸君が所属する学部・学科等の単位で実施され、学問の基礎となる読み書きの方法を学び、専門分野の全体像を把握することができるように、様々な形態で実施するように考えられています。各学部における大学入門科目の授業内容は、「シラバス（講義概要）」に載っているので、目を通しておいってください。

(2) 共通基礎教育科目

共通基礎教育科目は、外国語科目、健康・スポーツ科目及び情報処理科目からなります。共通基礎教育科目は、共通のカリキュラムに基づいて大学の学習と社会生活に必要な基礎を学習する科目群です。

共通基礎教育科目の履修方法は、2-(3)に詳しく述べます。また、個々の授業内容は、別冊の「教養教育科目の授業概要」にまとめてありますので、これから受講しようとする授業計画を調べ、各自の履修計画を立てるのに役立ててください。

① 外国語科目

本学で学べる外国語は英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語及び朝鮮語があります。

文化教育学部では、外国語科目を英語とし、4単位を必修としています。

ただし、外国人留学生は、この限りではなく、母国語以外の前述のドイツ語、フランス語、中国語及び朝鮮語のいずれかを英語の代わりとして履修することもできます。

英語は、従来のクラスの他に、ネイティブスピーカーの講師によるクラスも並行して開設されていますので、希望者は掲示に注意してください。

(文化教育学部では、英語以外の外国語科目の履修は義務づけられていません。)

② 健康・スポーツ科目

健康・スポーツ科目は、スポーツ科学講義、健康科学講義、スポーツ科学演習、健康科学演習及びスポーツ実習からなり、講義又は演習のいずれか及びスポーツ実習を必修として履修します。学生生活、社会生活に必要な健康についての基礎知識を学ぶとともに、スポーツ実習を通してスポーツに親しみ、スポーツの意義を考える授業です。

③ 情報処理科目

情報処理科目は、情報基礎概論及び情報基礎演習からなります。情報に満ちあふれているこの社会に適応できるよう、情報とは何か、情報を処理するにはどんな技術があるのか等を学びます。パソコンの使い方や、電子メールの利用法なども学習することができます。

(3) 主題科目

主題科目は、自然・人間・社会に関する様々な学習領域を大きく区切った「分野別主題科目」と、新たな問題の発見・解決を目指す「共通主題科目」とに分かれています。なお、主題科目は 20 単位を修得しなければなりません。主題科目の授業は、1 学期で完結し、2 単位です。

① 主題科目の構成

主題分野

分野別主題科目は、次の 6 つの主題分野からなります。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 文化と芸術 | 4 人間環境と健康 |
| 2 思想と歴史 | 5 数理と自然 |
| 3 現代社会の構造 | 6 科学技術と生産 |

また、共通主題科目は、次の主題分野からなります。

- 1 地域と文明

主題分野の目的と副主題

それぞれの主題分野には、主題のもついくつかの側面をまとめた副主題がおかれています。各主題分野の目的と副主題をまとめたものが下記の表です。

	主 題 分 野	主 題 の 目 的	副 主 題
分 野 別 主 題 科 目	1 文化と芸術	人間の表現能力とのかかわる文化的活動の様々な姿を解明することを目的とする。人類の文化的所産を「語る、書く、作る、演ずる、歌う、描く」などの表現活動の面からみる。	言語とコミュニケーション 文学の世界 芸術と創造
	2 思想と歴史	世界各地域の思想と歴史の特質を知り、これら各地域の異文化交渉の歴史を認識することを目的とする。過去思想と歴史の理解から未来への展望を開く。	人間・社会と思想 歴史と異文化理解
	3 現代社会の構造	現代社会は国内外を問わず、民族あるいは経済的利害の対立が強まり、混迷を増すばかりである。これらの原因を政治・経済の側面から考察していく。	現代の国際社会と環境 現代の政治 現代の経済 現代の日本社会
	4 人間環境と健康	ここでは、対象を人そのものに置く。身体や心の変化する過程、教育の過程、これらの過程に及ぼす環境の役割などを論ずる。自己の生活、他人の生活と人格の尊重など、生きて行く上で身につけねばならないものを講ずる。	生活と健康 心とからだ 発達と環境 子どもの発達と支援

	主 題 分 野	主 題 の 目 的	副 主 題
分 野 別 主 題 科 目	5 数理と自然	我々を取り巻く自然の中に生起する様々な現象の背後にある法則性と数理を解明する。自然の変化と歴史、複雑な現象の中にある原因と結果、その数理的構造などがどの様に認識されてきたのかを論ずる。	数理の世界 物質の科学 身のまわりの科学 自然と生命
	6 科学技術と生産	現代のハイテク技術やバイオテクノロジーの発展、科学と技術の関係や発展の歴史、農業生産と環境問題等、これから社会に巣立つ学生にとって重要な情報を講義する。	技術の歴史 資源とエネルギー ハイテクノロジーと生産 生産と環境
共 通 主 題 科 目	1 地域と文明	佐賀の歴史、文化、教育、地理、自然、科学、産業など地域に関わる身近な諸課題について具体的に学び経験することを通して、問題発見力と問題解決力を養う。	地域とくらし 佐賀の文化

授業の種類

各主題分野の下には、主題の目的に沿って、多くの授業科目が開設されています。各々の授業科目は、年度毎に開講予定が決められ、年度毎の「開講科目一覧」で提示されます。また、各々の授業科目は、講義内容等により、コア授業、個別授業、総合型授業という三つの種類に分けられています。学生諸君は、これらの授業科目の中からどれを選択しても構いませんが、選択に当たっては、講義の目的や講義概要を十分考慮してください。

コア授業とは、各主題分野におかれた副主題を構成する授業科目です。コア授業は、副主題の目的をうまくいかせるように、授業内容が相互に関連しあっています。

個別授業は、各副主題との関連が薄いか、関連があっても独立させる方がよいと思われる授業科目です。

総合型授業とは、コア授業や個別授業が主として一人の教員によって行われるのに対して、複数の教員が分担して行い、しかもテーマによっては複数の主題分野にまたがる授業科目です。

主題科目の履修として取り扱われる外国人留学生のための授業科目

日本事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、外国人留学生に対して、以下のような講義内容を中心に開講されます。これらの科目は、主題科目の履修として取り扱われます。

日本事情Ⅰ	文化と芸術、思想と歴史の分野を中心とする人文科学系の講義内容のもの。
日本事情Ⅱ	現代社会の構造、人間環境と健康の分野を中心とする社会科学系の講義内容のもの。
日本事情Ⅲ	数理と自然、科学技術と生産の分野を中心とする自然科学系の講義内容のもの。

② 主題科目の選択

主題科目は、豊かな人間性を培うところに意義があります。その意味で、自己の専門とあまりにも近い分野ばかりを勉強したのでは、人間の幅は広がりません。専門から離れた分野を学ぶことによって、自己の専門分野の位置づけが見えてきますし、専門の知識がかえって強化されます。例えば、現代技術や科学に強い経済学部卒の卒業生は、現代のハイテク社会の動きをよりよく見ることのできる人材であるといえます。あるいは、理工学部、農学部、医学部の学生が、バランスのとれた技術者や医者として成長するには、人間の感性や社会のあり方などに対する深い洞察力を同時に育てていく必要があります。

とはいえ、学生諸君が、各主題科目授業をただ漫然と選択しては、視野の拡大には必ずしも結びつきません。そこで、学生諸君は、先に掲げた分野別主題科目の中から一つの主題分野を選択して、その分野についてのある程度まとまった見識を身につけながら、その見識を核として、他の主題分野の授業を選択しなければなりません。

大学は、学生諸君が自らの視野を広げるような主題分野及び授業科目を、自らの内的動機に基づいて選択することを期待しています。低学年次に過度に集中して履修するのではなく、自らの知的関心に基づいて、より深く学べるように計画的に履修することが期待されます。さらに教養教育科目や専門教育科目の履修を通じて感じた疑問や関心の広がりに応じて高学年次でも主題科目を履修することができます。

各主題分野の狙い、副主題の意義は「教養教育科目の履修の手引き」に、個々の授業科目の概要は、「シラバス」に記載されています。学生諸君は、これをよく読んで、分野や授業科目を選択してください。迷った時は大学入門科目の担当教員に相談するという方法もあります。

③ 主題分野の登録

学生諸君は、大学入門科目などの授業を通して、主題科目の意義を十分に理解できるようになる1年次後学期の始めに、分野別主題科目から一つの主題分野を選択して、「教養教育運営機構」に登録しなければなりません。この登録分野は、2年次各学期の始めに変更することが可能です。学生諸君は、登録した分野の授業科目を8単位履修しなければなりません。（登録前又は登録変更前に修得した登録分野の単位も8単位の中に含まれます。）

履修の方法については、2-(4)「主題科目の履修方法」において、詳しく述べます。

2 教養教育科目の履修方法及び履修上の注意事項

(1) 学部・課程の学籍番号及び記号

各課程の学籍番号は以下のとおりです。

この「履修の手引」の中で、あるいは提示される時間割表などでは、学部・課程を表すため記号を用います。記号については、別途掲示します。(36 ページ参照)

文化教育学部	学校教育課程	10111000
	国際文化課程	10112000
	人間環境課程	10113000
	美術・工芸課程	10114000

(2) 大学入門科目の履修方法

大学入門科目は、1年次前学期に2単位を修得しなければなりません。クラスは、課程、選修ごとに編成されるので、掲示や時間割表で受講クラスを確認してください。

(3) 共通基礎教育科目の履修方法

〈外国語科目〉

外国語科目の授業は、週1回1学期(16週、授業15回・定期試験1回)1単位として行われます。

(ア) 履修方法

○ 英語の履修方法

英語は、1年次及び2年次の前・後学期に各1単位、合計4単位を修得しなければなりません。

○ ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語の履修方法

各々の外国語は、1年次の前学期にⅠa、後学期にⅠbを、2年次の前学期にⅡa、後学期にⅡbを履修しなければなりません。

○ 日本語の履修方法

日本語は、1年次の前学期にⅠを、後学期にⅡを履修しなければなりません。日本語は週2回1学期(16週)2単位として行われます。

○ 外国人留学生の特例

外国人留学生は、日本語を含め母国語以外の2ヶ国語を選択して履修することができます。

☆履修パターン(数字は単位数)

区 分	1 年 次		2 年 次	
	前 学 期	後 学 期	前 学 期	後 学 期
英 語	1	1	1	1
ド イ ツ 語	1	1	1	1
フ ラ ン ス 語	1	1	1	1
中 国 語	1	1	1	1
朝 鮮 語	1	1	1	1
日 本 語	2	2		

日本語は、外国人留学生のための科目です。

(イ) 選択方法

- 文化教育学部学生は、英語が必修科目です。
- 英語以外の語学が必修でない文化教育学部学生でも、希望により履修することがあります。ただし、この科目の単位は、卒業要件としての単位数の中には含まれません。
- 母国語を選択することはできません。

(ウ) クラス編成

- 課程の単位でクラスが編成されています。指定されたクラス以外で履修することはできません。
- 日本語の受講クラス
各学期最初の授業で実施するプレイスメント・テストによって、受講クラス科目ごとに受講クラスを分けます。

(エ) 海外語学研修プログラムによる履修

一定の条件を満たす海外語学研修プログラムを修了した場合、教養教育科目の外国語科目の単位として認定を受けることができます。対象となる研修プログラム等については、実施計画ができた時点で掲示によりお知らせします。

(オ) 各種外国語能力検定試験の単位認定

英語においてはTOEFL, TOEIC, 「英検」、ドイツ語においては「独検」、フランス語においては「仏検」、中国語においては「中検」で、基準となる成績を得た場合は、教養教育科目の外国語科目の単位として認定を受けることができます。単位認定を希望する者は、学期始めの指定する期間内に「申請書」及び「合格を証明する書類」を教務課に提出しなければなりません。

認定基準、認定科目、単位数及び評価は次のとおりです。

認定基準、認定科目、単位数及び評価

〔英 語〕

対 象 と す る 学 修			認定科目	認定単位数	評価
TOEFL	TOEIC	英 検			
52点～67点 150点～189点 (470点～519点)	550点～649点	2 級	英 語	2単位まで	認 定
68点～87点 190点～229点 (520点～569点)	650点～749点	準1級		4単位まで	
88点以上 230点以上 (570点以上)	750点以上	1 級		6単位まで	

上段は Internet-Based Test, 中段は Computer-Based Test, 下段括弧内は Paper-Based Test を表わします。

同一レベルにおいては一種類のみを認定の対象とします。

〔ドイツ語〕

対 象 と す る 学 修	認定基準	認 定 科 目	認定単位数	評価
独 検 (ドイツ語技能検定試験)	4 級	ドイツ語 I a, I b	2 単位まで	認 定
	3 級以上	ドイツ語 I a, I b 及び ドイツ語 II a, II b	4 単位まで	

〔フランス語〕

対 象 と す る 学 修	認定基準	認 定 科 目	認定単位数	評価
仏 検 (実用フランス語 技能検定試験)	4 級	フランス語 I a, I b	2 単位まで	認 定
	3 級以上	フランス語 I a, I b 及び フランス語 II a, II b	4 単位まで	

〔中国語〕

対 象 と す る 学 修	認定基準	認 定 科 目	認定単位数	評価
中 検 (中国語検定試験)	4 級	中国語 I a, I b	2 単位まで	認 定
	3 級以上	中国語 I a, I b 及び 中国語 II a, II b	4 単位まで	

〈健康・スポーツ科目〉

(ア) 履修方法 (数字は単位数)

- 講義, 演習, スポーツ実習は必修科目です。
- スポーツ科学講義, 演習及び健康科学講義, 演習は, 週 1 回 1 学期 (16 週) で 2 単位として行われます。1 年次の前・後学期のいずれかに履修のための曜日が指定されていますので, スポーツ科学講義, 演習及び健康科学講義, 演習の中から選択し, 2 単位を修得しなければなりません。
- スポーツ実習は, 1 年次の前・後学期各 1 単位合計 2 単位を修得しなければなりません。

(イ) クラス編成

- 講義又は演習のクラス分け及びスポーツ実習の種目分けを第 1 回目の授業で行うので体育館に集合してください。

区 分 \ 年次・学期	1 年 次	
	前 学 期	後 学 期
ス ポ ー ツ 科 学 講 義	前・後学期いずれかで 2	
ス ポ ー ツ 科 学 演 習		
健 康 科 学 講 義		
健 康 科 学 演 習		
ス ポ ー ツ 実 習	1	1

〈情報処理科目〉

- 情報基礎概論（講義）は、週1回1学期（16週）で2単位、情報基礎演習Ⅰ・Ⅱは、週1回1学期（16週）で1単位として行われます。
- 情報基礎概論は1年次の前学期に指定クラスで履修します。
- 情報基礎演習Ⅰは1年次の前学期又は後学期に、指定クラスで履修します。なお、教員免許状を取得しようとする者は、情報基礎演習Ⅱも履修することが望ましい。

（4）主題科目の履修方法

- 主題科目の必要な単位数

学生は、所定の主題科目の単位（20単位）を修得しなければなりません。

- 授業科目の選択

授業科目は、分野別主題科目及び共通主題科目の中から、時間割及び開講科目一覧を確認して選択してください。この場合、コア授業、個別授業、総合型授業のいずれから選択しても結構です。

- 主題分野の登録と登録した分野で修得すべき単位

学生は、1年次後学期の始めに分野別主題科目の中から一つの主題分野を選んで登録しなければなりません。

登録した主題分野からは、8単位を修得しなければなりません。また、共通主題科目の単位は、2単位を限度として、登録した主題分野の単位に含めることができます。

なお、外国人留学生は、日本事情の単位を主題科目の必要な単位に含めることができます。

また、3科目6単位を修得した場合は、登録した主題分野の8単位のうちに含めることができます。ただし、残りの2単位は、登録した主題分野から修得しなければなりません。

日本事情の開講予定（数字は、単位数を示す。）

区 分	1 年 次		2 年 次	
	前学期	後学期	前学期	後学期
日 本 事 情 Ⅰ		2		
日 本 事 情 Ⅱ			2	
日 本 事 情 Ⅲ	2			2

- 主題分野登録票の提出

主題分野の登録は、1年次後学期の指定された期間内に「教養教育教務担当窓口」へ「主題分野登録票」を提出することによって行います。この登録票の提出を怠ると、主題科目における「登録分野の単位」が確認できないため、卒業判定ができなくなりますので注意してください。

- 登録分野の変更

主題分野の登録の変更は、2年次の各学期の始めに、届出により行うことができます。

○ 教員免許状取得の要件

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 において「日本国憲法」、「外国語コミュニケーション」及び「情報機器の操作」の取得が必要とされています。

教員免許を修得しようとする者は、主題科目分野「現代社会の構造」の中の「現代の法と社会（日本国憲法）」2 単位、共通基礎教育科目の「スポーツ実習」2 単位、「情報基礎概論」2 単位、「情報基礎演習Ⅰ」1 単位を必ず修得しなければなりません。

学校教育課程の学生は、主題科目分野「現代社会の構造」の中の「現代の法と社会（日本国憲法）」2 単位が必修です。

○ 学内開放科目について

学部で開講される専門教育科目の中で、他学部生が「主題科目」として履修できるものを「学内開放科目」といいます。具体的な授業科目については、学期始めに掲示でお知らせしますが、履修を制限する場合があります。希望する学生は、開講する学部の授業時間割に留意して履修計画を立ててください。

○ 他大学との単位互換

本学は、西九州大学及び放送大学と単位互換協定を締結しているほか、佐賀県内の 6 大学・短大で構成する大学コンソーシアム佐賀に参加しており、これらの大学で履修した科目の単位を本学の卒業要件単位として認定する制度があります。詳細については、下記を参照してください。

学生センターHP 単位互換 <http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/tani.html>

大学コンソーシアム佐賀HP <http://www.saga-cu.sakura.ne.jp/>

(5) 九州地区国立大学間合宿共同授業

九州地区国立大学の学生と教員が一堂に集まり、合宿研修によって寝食を共にしながら、交流を深め、かつ、同一テーマについて多面的に授業を進めることを目的としています。

この共同授業で修得した授業科目の単位は、佐賀大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、卒業に必要な主題科目の単位数に含めることができます。

(6) 追試験

- ① 教養教育科目については、やむを得ない理由〔天災、事故、病気、肉親の死亡（二親等以内）、大学院受験、就職試験等〕によって定期試験を受験できなかった科目で、所定の追試験願を提出した者については、教養教育運営機構協議会の議を経て、追試験を行うことがあります。
- ② 追試験願は、欠席の事由を証明する書類を添えて、公示された定期試験期間の最終日から 7 日以内に学生センター（教養教育教務担当）窓口へ提出しなければなりません。ただし、就職試験等で事前に定期試験を受験できないことが明らかな場合は、事前に提出しなければなりません。

(7) 再試験

- 主題科目、外国語科目のうち英語及び健康・スポーツ科目については、再試験を行いません。
- 該当科目は、修得単位通知書交付日に、学生センター掲示板に公示するので確認してください。
- 再試験願は、公示された日から 7 日以内に学生センター（教養教育教務担当）窓口へ提出し

なければなりません。

(8) 外国語科目、健康・スポーツ科目及び情報処理科目の再履修・指定外履修について

〈再履修〉

履修した科目で不合格と判定された科目を再度履修することを再履修といいます。

再履修は全科目について可能ですが、特に外国語科目については、年次・学期及び受講クラスが指定されることがありますので掲示等で確認してください。

ア 外国語科目の再履修

○ 英語：

次の順により再履修クラスを指定します。

1) 不合格となった教員が担当するクラスで履修する。

2) 1) のクラスでの履修が困難な時は、「指定外履修クラス」で履修する。

ただし、上記の1) 又は2) において、再履修希望者が多い場合は、履修を許可されないことがあります。

○ ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語：

各自で適宜に履修可能なクラスを選択することができます。

○ 日本語：

元のクラスで再履修します。

イ 健康・スポーツ科目の再履修

2年次から再履修できます。受講クラスはどこでも結構です。ただし、スポーツ実習の1学期に履修できる単位数は、1単位とします。

ウ 情報処理科目の再履修

2年次から再履修できます。原則として同じ対象クラスで履修してください。ただし、指定クラスでの受講が困難な時は、指定クラスの教員及び受講希望クラスの教員の許可が得られれば、クラスを変わることができます。

〈指定外履修〉

指定された再履修クラスの授業が専門教育科目の必修科目等と重なり、履修できない場合は申し出により、指定されたクラス以外で再履修を許可することがあります。これを指定外履修といいます。

指定外履修を申請する場合は、指定外履修願及び履修カードを学生センター（教養教育教務担当）窓口に提出し、許可を受けなければなりません。詳細は、適切な時期に掲示します。

3 共通専門教育科目

共通専門教育科目は、学部間で共通する専門教育を行うため設けられています。現在、共通専門科目として開設されているのは、特定プログラム教育科目として区分される、デジタル表現技術教育科目群及び障がい者就労支援コーディネーター教育科目群です。

共通専門教育科目は、選択科目であり、次表の範囲内で各学年・課程・選修で定める選択科目として卒業に必要な単位数に算入できます。

なお、デジタル表現技術教育科目を受講できるのは、入学手続き時に「デジタル表現技術者育成プログラム」を、障がい者就労支援コーディネーター教育科目を受講できるのは「障がい者就労支援コーディネーター養成プログラム」を、それぞれ受講申請し、許可された者のみです。

卒業に必要な単位数に算入できる単位数の上限

学 部	学科・課程	選 修	共通専門教育科目		
			特定プログラム教育科目		
			デジタル 表現技術 教育科目群	障がい者就労支援 コーディネーター 教育科目群	計
文化教育学部	学校教育課程	教 育 学 選 修	10		10
		教 育 心 理 学 選 修	6		6
		障 害 児 教 育 選 修	8		8
		教 科 教 育 選 修	10		10
		数 学 選 修	4		4
		理 科 選 修	2		2
		音 楽 選 修	6		6
	国際文化課程	日本・アジア文化選修	25		25
		欧 米 文 化 選 修	25		25
	人間環境課程	生活・環境・技術選修	18		18
		健康福祉・スポーツ選修	18		18
	美術・工芸課程	美 術 ・ 工 芸 選 修	20		20

平成22年度 教養教育運営機構時間割表

文化教育学部 (前学期) 1 年次

	I	II	III	IV	V
月	スポーツ科学講義・演習 健康科学講義・演習 111 112 113 114	スポーツ実習 111 112 113 114			情報基礎演習 I 112
火	大学入門科目 学校教育－教科教育		情報基礎概論 111 112 113 114		
水	主 題 科 目	主 題 科 目	日本語 I (a), (b), (c)		
木	主 題 科 目 日本事情Ⅲ	主 題 科 目	情報基礎演習 I 111	情報基礎演習 I 114	大学入門科目 学校教育－理科
金			大学入門科目 日本語 I 美術・工芸課程 (a), (b), (c)	英語 111, 112 113, 114 英語 N 111, 112 113, 114	

平成22年度 教養教育運営機構時間割表

文化教育学部（後学期）1 年次

	I	II	III	IV	V
月	情報基礎演習 I 113	スポーツ実習 111 112 113 114		情報基礎演習 II 111 112 113 114	
火					
水	主 題 科 目	主 題 科 目 日本事情 I	日本語 II (a), (b), (c)		
木	主 題 科 目	主 題 科 目			
金			日本語 II (a), (b), (c)	英 語 111, 112 113, 114 英語 N 111, 112 113, 114	

VI 専門教育科目

「文化と教育の融合を図る」という本学部の理念を実現するために、学部共通科目の専門基礎科目を必修単位として修得するように義務づけられています。さらに、各々の課程では、その教育・研究の目的に応じた専門科目を必修又は選択の単位として修得するように義務づけられています。

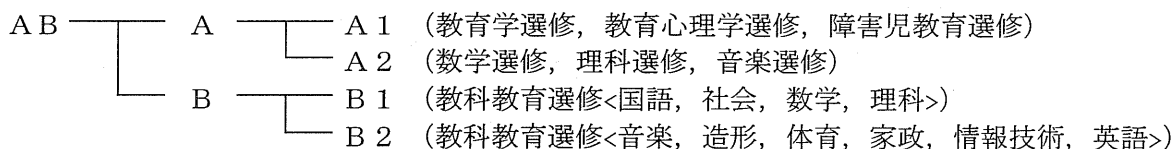
以下に、専門教育科目の単位を修得するにあたっての諸注意を記します。

1 課程・選修のクラス分け

① 課程のクラス分け

- 1 1 1 (学校教育課程)
- 1 1 2 (国際文化課程)
- 1 1 3 (人間環境課程)
- 1 1 4 (美術・工芸課程)

② 学校教育課程のクラス分け



- ・指定クラスがある選修の学生は、原則として指定されたクラス以外では履修できません。
- ・他学部生用の開講される授業科目は、原則として履修できません。

2 追試験

- ① やむを得ない理由によって定期試験を受験できなかった授業科目で、担当教員の承認を得たのち、所定の追試験願を提出した者については、教務委員会の議を経て追試験を行うことがあります。
- ② 就職試験等により事前に定期試験を受験できないことが明らかな場合は、当該授業科目の試験日の前日までに、追試験願を教務担当へ提出しなければなりません。
- ③ 病気等により事前に願い出ることができなかった場合は、当該授業科目の試験日から7日以内に、追試験願を教務担当へ提出しなければなりません。ただし、この期間中に本人が手続きできない場合は、この限りではありません。
- ④ 追試験願には、欠席の事由を証明する文書等を添えなければなりません。
- ⑤ 欠席の事由として認められるのは、天災、交通機関の事故、交通事故、病気、忌引(2親等以内)、就職試験、大学院入試、博物館実習、その他です。「その他」に該当する事由の適否については、教授会で判断します。

3 再試験

- ① 再試験は原則として行われません。ただし、担当教員が再試験実施を承認した場合には行われることがあります。
- ② 再試験が実施される授業科目は成績交付後に教務担当より発表されます。受験を希望する場合は、その発表日を含めて5日以内に再試験願を教務担当へ提出しなければなりません。

Ⅶ 諸 手 続 に つ い て

1 履修等に関する手続

授業科目の履修等に関する手続きとして次のものがありますから、特に留意して下さい。なお、期限内に提出されない場合は原則として認められません。諸手続の申込用紙は教務担当等に準備してあります。

年次	名 称	提 出 期 限	提 出 先
随時	履 修 カ ー ド	開 講 後 2 週 間 以 内	授 業 担 当 教 員
	履 修 手 続	指 定 す る 期 日	総合情報基盤センターにて登録
	追 試 験 願	当該授業科目の試験日から7日以内	教務課文化教育学部教務担当
	再 試 験 願	指 定 す る 期 日	〃
	休 学 願	随 時 (事 前 に)	教務課教務情報管理担当
	退 学 願	〃	〃
	復 学 願	〃	〃
	住 所 変 更 届	〃	教務課教務管理担当
	本 籍 地 変 更 届	〃	〃
	改 姓 (名) 届	〃	〃
	保 証 人 変 更 届	〃	〃
1 年 ～ 2 年	主 題 分 野 登 録 票	指 定 す る 期 日	学生センター 教養教育教務担当
3 年	卒 業 研 究 履 修 届 教 育 実 習 届	1 月 20 日 指 定 す る 期 日	選 修 の 教 員 代 表 教務課文化教育学部教務担当
4 年	就 職 志 望 調 査 票	指 定 す る 期 日	キャリアセンター
	教 育 実 習 届	〃	教務課文化教育学部教務担当
	教 員 免 許 状 申 請 届	〃	〃
	卒 業 論 文 等	1 月 31 日	指 導 教 員

2 証明書の発行手続

申込書は印鑑持参の上、所定の申込書により申し込んでください。

なお、発行は原則として申込日の翌日の午後3時以降となりますので、早めに申し込んでください。

証明書の種類	申込場所
・ 学生証	教務課教務管理担当
・ 通学証明書など	学務部学生生活課
・ 自動車登録票	

「在学証明書」、「JRの旅客運賃割引証(学割)」、「成績証明書」及び「卒業見込証明書」は学生センター内に設置された証明書自動発行機で発行します。

証明書の種類	申込場所
・ 免許状取得見込証明書 ・ 人物証明書(又は人物推薦書) ・ 調査書 ・ その他 (学籍又は成績等に関する証明書)	教務課文化教育学部教務担当

VIII 教育免許状と教育実習

1 教員免許状

- (1) それぞれの課程にあつては、教員免許状取得のための必要条件を充足すれば、下の表に示すような各種の免許状を取得することが可能です。

ただし、学校教育課程においては、卒業要件を満たすことによって「小学校教諭1種」免許状を取得することができます。

- (2) 免許状を取得するためには、卒業要件以外の授業科目の単位を修得する必要があるため、相当の努力が必要であるとともに、授業科目の学年・学期配当や時間割も考慮しなければなりません。

教員免許状取得のための必要条件を充足するためには、学生便覧の「教員免許状の取り方」及びこの手引きの「XI 専門教育科目の開設授業科目表について」をよく読んで、必要な授業科目を計画的に履修することが望まれます。

- (3) 小学校教諭・中学校教諭の教員免許状取得のためには、介護等体験実習が必修となります。

(詳細は、「VIII 教員免許状と介護等体験実習について」に記載)

課 程	取 得 で き る 免 許 状 の 種 類
学校教育課程	小学校教諭1種又は2種 中学校教諭1種又は2種 (国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語) 高等学校教諭1種 (国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 工芸, 書道, 保健体育, 家庭, 工業, 英語, 情報) 特別支援学校教諭1種又は2種 幼稚園教諭1種又は2種
国際文化課程	中学校教諭1種又は2種 (国語, 社会, 英語) 高等学校教諭1種 (国語, 地理歴史, 公民, 英語, 書道)
人間環境課程	中学校教諭1種又は2種 (保健体育, 技術, 家庭) 高等学校教諭1種 (保健体育, 工業, 家庭)
美術・工芸課程	中学校教諭1種又は2種 (美術) 高等学校教諭1種 (美術, 工芸)

国際文化課程、人間環境課程及び美術・工芸課程にあつては、教員免許状取得のための必要条件を充足すれば、上記各3課程に示す免許状以外の各種の免許状を取得することが可能です。

なお、教育実習の履修方法については、次節に記載されています。

2 教育実習

教育実習の種類とその実施計画

文化教育学部には、免許状の種類や必要単位数の違いによって、次に示す8種類の教育実習があります。さらに、実習期間、課程・選修、実施時期等の違いによって、下表に示すAからNまでの教育実習に分けることができます。

小学校教育実習（5単位）A、B

小学校教育実習（3単位）C

中学校教育実習（5単位）D

中学校教育実習（3単位）E、F

高等学校教育実習（3単位）G、H

障害児教育実習（3単位）I、J、K

幼稚園教育実習（5単位）L

幼稚園教育実習（3単位）M、N

実習の種類		単 位 数	実習期間等	課 程	履修年次	時 期			実習校
						事前指導	実習	事後指導	
小 学 校 教育実習	A	5	4週間 (事前・事後指導 15時間を含む)	学校教育	3年次	5月上旬 ～ 8月上旬	9月	10月下旬	附属小学校 本庄小学校
	B	5	4週間 (事前・事後指導 15時間を含む)	その他	4年次		9月前半	10月下旬	附属小学校
	C	3	2週間(事前・事後指導 15時間を含む)	その他					
中 学 校 教育実習	D	5	3週間(事前・事後指導 15時間を含む)	その他	4年次	4月上旬	5～6月 (附属及び 佐賀市内 中学校)	7月上旬 又は 12月上旬	主に附属 及び佐賀市内 中学校
	E	3	2週間(事前・事後指導 15時間を含む)	その他 ※1					
	F	3	2週間(事前・事後指導 15時間を含む)	学校教育 (併免)		8月上旬	10月上旬	12月上旬	附属中学校 城西中学校
高等学校 教育実習	G	3	2週間(事前・事後指導 15時間を含む)	その他	4年次	4月上旬	5～10月	12月上旬	出 身 高 校
	H	3	2週間(事前・事後指導 15時間を含む)	学校教育 (併免)					
障 害 児 教育実習	I	3	3週間(事前・事後指導 15時間を含む)	学校教育 (障害児教育選修)	4年次	8月上旬 及び 10月下旬	11月上旬～ 11月下旬	12月上旬	附 属 特 別 支 援 学 校 他
	J	3	2週間(事前・事後指導 15時間を含む)	その他			11月中旬 ～ 11月下旬		
	K	3	2週間(事前・事後指導 15時間を含む)	学校教育 (障害児教育選修 以外・併免)					
幼 稚 園 教育実習	L	5	4週間 (教育実習Ⅰ・Ⅱ及び 事前・事後指導 15時間を含む)	その他	4年次	8月上旬 及び 10月中旬	11月上旬～ 11月下旬	12月上旬	附属幼稚園
	M	3	2週間(事前・事後指導 15時間を含む)	その他			11月中旬～ 11月下旬		
	N	3	2週間(事前・事後指導 15時間を含む)	学校教育 (併免)					

注) 事前指導、実習、事後指導の時期は予定であり、若干変更になることがあります。

※1 高等学校教育実習等を履修済又は履修予定であること。

教育実践フィールド演習Ⅰは、附属幼稚園、附属中学校、佐賀市立城西中学校、附属特別支援学校においてそれぞれ半日の参観実習を行うとともに、佐賀市内の小学校における参観実習及び事前と事後の演習を行うこととする。

教育実践フィールド演習Ⅱは、半日の授業実習及び事前と事後の演習を行うこととする。

教育実践フィールド演習Ⅲは、小学校教育実習の準備を行うこととし、模擬授業及び事前と事後の演習を行うこととする。

教育実習の履修方法及び参加資格基準について

学校教育課程の学生とそれ以外の学生の場合とでは、履修すべき教育実習の種類、参加資格基準が異なるので、それらについて別々に記します。

I 学校教育課程の場合

1 小学校教諭免許状（主免）

- ・「小学校教育実習（事前・事後指導を含めて5単位）」（3年次：A）は卒業に必要な単位であり、すべての選修において、履修する必要があります。
- ・「小学校教育実習」は、「教育実践フィールド演習Ⅰ」（1年次）、「教育実践フィールド演習Ⅱ」（2年次）、「教育実践フィールド演習Ⅲ」（3年次）を履修した者に認定されます。
- ・小学校教育実習の参加資格基準は、以下のとおりです、
 - 1) 教育実践フィールド演習Ⅰ及び教育実践フィールド演習Ⅱを履修済みであること。また、教育実践フィールド演習Ⅲを履修済みもしくは履修中であること。
 - 2) 2年次後学期終了までに、60単位以上を修得していること。
 - 3) 2年次後学期終了までに、初等教科教育法Ⅰ（総論）について4教科各1単位以上の計4単位以上を修得していること。

2 中学校教諭免許状又は高等学校教諭免許状（併免）

- ・小学校教育実習を履修した後に、「中学校教育実習（事前・事後指導を含めて3単位）」（4年次：F）又は「高等学校教育実習（事前・事後指導を含めて3単位）」（4年次：H）のいずれかを履修する必要があります。
- ・中学校教育実習又は高等学校教育実習の参加資格基準は、以下のとおりです。
 - 1) 卒業研究を履修中であること。（4月1日時点で3年以上在学（休学期間を除く））
 - 2) 3年次後学期終了までに、次の①～③を満たしていること。
 - ① 90単位以上を修得していること。
 - ② 教科に関する科目については、ア又はイのとおりとします。
 - ア 中学校教育実習においては、免許法施行規則第4条の表の第2欄の科目の2分の1以上にわたり、また、単位についても計6単位以上を修得していること。
 - イ 高等学校教育実習においては、免許法施行規則第5条の表の第2欄の科目の2分の1以上にわたり、また、単位についても計10単位以上を修得していること。
 - ③ 教職に関する科目については、教科教育法2単位以上、教職概説2単位、教育心理学2単位を含め計10単位以上を修得していること。

3 特別支援学校教諭免許状（障害児教育選修は主免、それ以外は併免）

- ・主免、併免にかかわらず、「障害児教育実習（事前・事後指導を含めて3単位）」（4年次：I又はK）を履修する必要があります。なお、事前・事後指導を除く実習期間は、主免の場合3週間、併免の場合2週間となります。
- ・障害児教育実習の参加資格基準は、以下のとおりです。
 - 1) 卒業研究を履修中であること。（4月1日時点で3年以上在学（休学期間を除く））
 - 2) 小学校、中学校、高等学校又は幼稚園教育実習を履修済みであること。
 - 3) 3年次後学期終了までに、次の①、②を満たしていること。
 - ① 90単位以上を修得していること。
 - ② 特別支援教育に関する科目については、ア～ウからそれぞれ2単位以上を修得していること。

ア 障害児教育総論

イ 知的障害児心理学, 障害児心理学, 視覚障害者の生理・病理又は聴覚障害者の生理・病理

ウ 知的障害教育, 障害児学習指導法Ⅰ又は障害者心理治療法

4 幼稚園教諭免許状 (併免)

・「小学校教育実習 (事前・事後指導を含めて5単位)」をもって「幼稚園教育実習 (事前・事後指導を含めて5単位)」に充てることもできますが, 小学校教育実習を履修した後に, 「幼稚園教育実習 (事前・事後指導を含めて3単位)」(4年次: N) を履修することが望ましい。

・幼稚園教育実習の参加資格基準は, 以下のとおりです。

1) 卒業研究を履修中であること。(4月1日時点で3年以上在学 (休学期間を除く))

2) 3年次後学期終了までに, 次の①～③を満たしていること。

① 90単位以上を修得していること。

② 教科に関する科目については, 2教科各1単位以上の計2単位以上を修得していること。

③ 教職に関する科目については, 次のとおりとします。

ア 保育内容に関する科目については, 4単位以上を修得していること。このうち, 2単位までは, 初等教科教育法又は特別活動の研究の単位をもってこれに替えることができます。

イ 幼児教育課程論2単位又は乳幼児心理学2単位を修得していること。

ウ その他の科目については, 教職概説2単位を含めて8単位以上を修得していること。

Ⅱ 学校教育課程以外の場合

1 中学校教諭免許状

・「中学校教育実習 (事前・事後指導を含めて5単位)」(4年次: D) を履修する必要があります。

この場合, 高等学校教諭免許状も併せて取得できます。

・中学校教育実習の参加資格基準は, 以下のとおりです。

1) 卒業研究を履修中であること。(4月1日時点で3年以上在学 (休学期間を除く))

2) 3年次後学期終了までに, 次の①～③を満たしていること。

① 90単位以上を修得していること。

② 教科に関する科目については, 免許法施行規則第4条の表の第2欄の科目の2分の1以上にわたり, また, 単位についても計6単位以上を修得していること。

③ 教職に関する科目については, 教科教育法2単位以上, 教職概説2単位, 教育心理学2単位を含め計10単位以上を修得していること。

2 高等学校教諭免許状

・「中学校教育実習 (事前・事後指導を含めて3単位)」(4年次: E) 又は「高等学校教育実習 (事前・事後指導を含めて3単位)」(4年次: G) のいずれかを履修する必要があります。この場合, 中学校教諭免許状を取得することはできません。

・中学校教育実習又は高等学校教育実習の参加資格基準は, 以下のとおりです。

1) 卒業研究を履修中であること。(4月1日時点で3年以上在学 (休学期間を除く))

2) 3年次後学期終了までに, 次の①～③を満たしていること。

① 90単位以上を修得していること。

② 教科に関する科目については, ア又はイのとおりとします。

ア 中学校教育実習においては, 免許法施行規則第4条の表の第2欄の科目の2分の1以上にわたり, また, 単位についても計6単位以上を修得していること。

イ 高等学校教育実習においては, 免許法施行規則第5条の表の第2欄の科目の2分の1以

上にわたり、また、単位についても計10単位以上を修得していること。

- ③ 教職に関する科目については、教科教育法2単位以上、教職概説2単位、教育心理学2単位を含め計10単位以上を修得していること。

3 小学校教諭免許状

他の免許状が取得見込みかどうかによって、次のa又はbの方法があります。

a 小学校教諭免許状のみを取得する場合

- ・「小学校教育実習（事前・事後指導を含めて5単位）」（4年次：B）を履修する必要があります。
- ・小学校教育実習の参加資格基準は、以下のとおりです、
 - 1) 卒業研究を履修中であること。（4月1日時点で3年以上在学（休学期間を除く））
 - 2) 3年次後学期終了までに、次の①～④を満たしていること。
 - ① 教育実践フィールド演習Ⅰ及び教育実践フィールド演習Ⅱを履修済みであること。また、教育実践フィールド演習Ⅲを履修済みもしくは履修中であること。
 - ② 90単位以上を修得していること。
 - ③ 教科に関する科目については、2教科各1単位以上の計2単位以上を修得していること。
 - ④ 教職に関する科目については、次のとおりとします。
 - ア 教科教育法については、3教科各2単位以上の計6単位以上を修得していること。
 - イ その他の科目については、教職概説2単位、教育原論2単位を含めて10単位以上を修得していること。

b その他の免許状（中学校、高等学校又は幼稚園）の他に小学校教諭免許状を取得する場合

- ・「中学校教育実習（事前・事後指導を含めて5単位）」（4年次）又は「幼稚園教育実習（事前・事後指導を含めて5単位）」（4年次）を履修済みの場合は、それらに加えて、「小学校教育実習（事前・事後指導含めて3単位）」（4年次：C）を履修することが望ましい。
- ・「高等学校教育実習（事前・事後指導を含めて3単位）」（4年次）を履修済みの場合は、高等学校教育実習を履修した後に、「小学校教育実習（事前・事後指導を含めて3単位）」（4年次：C）を履修する必要があります。
- ・小学校教育実習の参加資格基準は、以下とおりです。
 - 1) 中学校、高等学校又は幼稚園教育実習を履修済みであること。
 - 2) 卒業研究を履修中であること。（4月1日時点で3年以上在学（休学期間を除く））
 - 3) 3年次後学期終了までに、次の①、②を満たしていること。
 - ① 教科に関する科目については、2教科各1単位以上の計2単位以上を修得していること。
 - ② 教職に関する科目については、次のとおりとします。
 - ア 教科教育法については、3教科各2単位以上の計6単位以上を修得していること。
 - イ その他の科目については、教職概説2単位、教育原論2単位を含めて10単位以上を修得していること。

4 特別支援学校教諭免許状

- ・「障害児教育実習（事前・事後指導を含めて3単位）」（4年次：J）を履修する必要があります。
- ・障害児教育実習の参加資格基準は、以下のとおりです。
 - 1) 卒業研究を履修中であること。（4月1日時点で3年以上在学（休学期間を除く））
 - 2) 小学校、中学校、高等学校又は幼稚園教育実習を履修済みであること。

3) 3年次後学期終了までに、次の①、②を満たしていること。

① 90単位以上を修得していること。

② 特別支援教育に関する科目については、ア～ウからそれぞれ2単位以上を修得していること。

ア 障害児教育総論

イ 知的障害児心理学、障害児心理学、視覚障害者の生理・病理又は聴覚障害者の生理・病理

ウ 知的障害教育、障害児学習指導法Ⅰ又は障害者心理治療法

5 幼稚園教諭免許状

他の免許状が取得見込みかどうかによって、次のa又はbの方法があります。

a 幼稚園教諭免許状のみを取得する場合

・「幼稚園教育実習（事前・事後指導を含めて5単位）」（4年次：L）を履修する必要があります。

・幼稚園教育実習の参加資格基準は、以下のとおりです、

1) 卒業研究を履修中であること。（4月1日時点で3年以上在学（休学期間を除く））

2) 3年次後学期終了までに、次の①～④を満たしていること。

① 教育実践フィールド演習Ⅰ及び教育実践フィールド演習Ⅱを履修済みであること。

② 90単位以上を修得していること。

③ 教科に関する科目については、2教科各1単位以上の計2単位以上を修得していること。

④ 教職に関する科目については、次のとおりとします。

ア 保育内容に関する科目については、4単位以上を修得していること。このうち2単位までは初等教科教育法又は特別活動の研究の単位をもってこれに替えることができます。

イ 幼児教育課程論2単位又は乳幼児心理学2単位を修得していること。

ウ その他の科目については、教職概説2単位を含めて8単位以上を修得していること。

b その他の免許状（小学校、中学校又は高等学校）の他に幼稚園教諭免許状を取得する場合

・「小学校教育実習（事前・事後指導を含めて5単位）」（4年次）を履修済みの場合は、それをもって「幼稚園教育実習（事前・事後指導を含めて5単位）」に充てることもできますが、小学校教育実習を履修した後に、「幼稚園教育実習（事前・事後指導を含めて3単位）」（4年次：M）を履修することが望ましい。

・「中学校教育実習（事前・事後指導を含めて5単位）」（4年次）又は「高等学校教育実習（事前・事後指導を含めて3単位）」（4年次）を履修済みの場合は、それらの教育実習を履修した後に、「幼稚園教育実習（事前・事後指導を含めて3単位）」（4年次：M）を履修する必要があります。

・幼稚園教育実習の参加資格基準は、以下のとおりです。

1) 小学校、中学校又は高等学校教育実習を履修済みであること。

2) 卒業研究を履修中であること。（4月1日時点で3年以上在学（休学期間を除く））

3) 3年次後学期終了までに、次の①、②を満たしていること。

① 教科に関する科目については、2教科各1単位以上の計2単位以上を修得していること。

② 教職に関する科目については、次のとおりとします。

ア 保育内容に関する科目については、4単位以上を修得していること。このうち2単位までは、初等教科教育法又は特別活動の研究の単位をもってこれに替えることができます。

イ 幼児教育課程論2単位又は乳幼児心理学2単位を修得していること。

ウ その他の科目については、教職概説2単位を含めて8単位以上を修得していること。

IX 教員免許状と介護等体験実習について

小学校と中学校の教員免許状取得に際して、社会福祉施設や特別支援学校で7日間の介護等体験実習が義務付けられています。この制度についての概要及び佐賀大学における実施計画は次のとおりです。

I 義務教育教員志願者に対する介護等体験の義務付けに関する制度の概要

1. 法律の名称とその趣旨

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（介護等体験特例法）」により、教員（教諭）が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員（教諭）の資質向上及び学校教育の一層の充実を図る観点から、小学校及び中学校の教諭の普通免許状の授与にあたっては、社会福祉施設等において7日間の介護等の体験を行うことが義務付けられています。

2. 制度の対象者

小学校及び中学校の教諭の普通免許状を取得しようとする者。

〔義務付けを免除する者〕

- ① 介護等に関する専門的知識及び技術を有する者
(省令で、介護福祉士、特別支援学校教員等の資格を併せ取得する者等を規定)
- ② 身体上の障害により介護等体験が困難な者
(省令で、身体障害者福祉法による1級から6級までの身体障害者を規定)

3. 介護等体験の内容等

(1) 介護等体験の内容

- ・ 障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（障害者等の話相手、散歩の付添い等）、受入施設職員の業務補助（掃除や洗濯など、障害者等と直接接しないものを含む。）
- ・ 特別支援教育諸学校での教育実習、受入施設での他の資格取得に際しての介護実習等は、介護等の体験期間に算入可能

(2) 介護等体験の実施施設

特別支援学校（盲・聾・養護学校）又は社会福祉施設

(3) 介護等体験の時期及び期間

18才に達した後の7日間

（目途：少なくとも盲・聾・養護学校2日＋社会福祉施設5日＝7日）

(4) 免許状申請に係る手続（省令で規定）

- ① 施設は、教員になろうとする者が介護等体験をしたことを証明する書類を発行
- ② 都道府県教育委員会への免許状の申請に当たっては、上記の証明書を提出

Ⅱ 佐賀大学における介護等体験実習について

佐賀大学においては、文化教育学部教育実習委員会が企画・立案し、他学部の協力を得て実施します。

1. 特別支援学校（盲・聾・養護学校）における介護等体験実習について

- ① 実施施設 佐賀大学文化教育学部附属特別支援学校
〒840-0026 佐賀市本庄町正里46-2 TEL 0952-29-9676
- ② 期 間 2日間
- ③ 実施学年 学校教育課程：1年次生より実施（教育実習Ⅰの拡充）
国際文化課程：3年次生より実施
人間環境課程：3年次生より実施
美術・工芸課程：1年次生より実施
- ④ 経 費 必要な場合は、実費程度

2. 社会福祉施設における介護等体験実習について

- ① 実施施設 佐賀県内における社会福祉施設
（参加学生の希望に基づき、県社会福祉協議会と連絡調整して決定）
- ② 期 間 5日間（連続）
- ③ 実施学年 学校教育課程：2年次生より実施
国際文化課程：3年次生より実施
人間環境課程：3年次生より実施
美術・工芸課程：2年次生より実施
- ④ 経 費 1日につき2,000円を県社会福祉協議会に支払う。
- ⑤ 介護等体験に係る保険加入について（科目等履修生を含みます。）

介護等体験実習を受ける時は、以下の保険に必ず加入しなければなりません。

- ・ 学研災付帯賠償責任保険（他人にケガをさせたり、財物を損壊した時の損害賠償を補償）
- ・ Aコース：正課，学校行事，Bコースの範囲（1年間：340円）
- ・ Bコース：介護体験活動，教育実習，インターンシップなど（1年間：210円）

※ 加入手続きについては、学生センター（学生生活課）で行ってください。

X 教員免許状以外の資格について

指定された科目の履修と単位の取得によっては、下記の資格を得るための条件を満たすことができます。いずれも計画的な履修が必要です。

- (1) 社会教育主事となる資格
- (2) 学芸員の資格
- (3) 社会福祉士の受験資格
- (4) 社会体育指導者の資格
 - ① 地域スポーツ指導者（スポーツ指導員）
 - ② 競技力向上指導者（コーチ）
- (5) レクリエーション・インストラクターの資格
- (6) 健康運動指導士認定試験の受験資格

これらの資格を取得するために履修すべき授業科目や必要単位数については、学生便覧の「教員免許状以外の資格の取り方」を参照して下さい。

履修すべき授業科目の履修上の諸注意については、この履修の手引きの「XII 専門教育科目の開設授業科目表について」で確認して下さい。

XI 留学生交流支援制度（短期派遣）について

（平成 22 年度募集要項より抜粋）

1. 趣 旨

この制度は、我が国の大学が、諸外国の大学と学生交流に関する協定等を締結し、それに基づき、諸外国の大学へ短期間学生を派遣する場合に、当該学生を支援することにより、留学生交流の一層の拡充を図り、我が国と諸外国との相互理解と友好親善を増進するとともに、我が国の大学の国際化・国際競争力強化に資することを目的とする。

2. 定 義

この要項において「短期派遣留学生」とは、日本の大学が、諸外国の大学（以下、「派遣先大学」という。）との学生交流に関する協定等に基づいて、日本の大学（以下、「在籍大学」という。）に在籍したまま、3 か月以上 1 年以内の期間派遣する学生で、本制度により派遣先大学での教育・研究に対する支援を受ける者をいう。

3. 支援予定人数

未定（参考：平成 21 年度割当実績 620 名）

4. 支援の内容

短期派遣留学生として採用された者に対して、奨学金月額 80,000 円を支給する。

5. 候補者の資格及び条件

候補者の推薦にあたっては、日本の大学の正規の課程に在籍する学生（日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者）で、次の（1）～（8）に掲げる要件を満たす者とする。

（1） 学生交流に関する協定等に基づき、派遣先大学が受入れを許可する者

（2） 在籍大学における学業成績が優秀で人物等に優れており、かつ、次に定める方法で求められる、在籍大学における推薦時の前年度の成績評価係数が 2.30 以上であること。前年度の成績がない場合は推薦時の前学期分の成績から算出するものとする。なお、成績評価係数で表すことができない場合は、所定の様式に、特に成績が優秀であり、成績評価係数 2.30 相当以上であると認められる理由を明記すること。

〔成績評価係数の算出方法〕

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第 3 位を四捨五入）

	成 績 評 価				
4 段階評価（パターン 1）	—	優	良	可	不可
4 段階評価（パターン 2）	—	A	B	C	F
4 段階評価（パターン 3）	—	100～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点以下
5 段階評価（パターン 4）	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点以下
5 段階評価（パターン 5）	S	A	B	C	F
5 段階評価（パターン 6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※履修した授業について単位制を採らない場合は、科目数をすべて単位数に置き換えて算出すること。

- (3) 留学の目的及び計画が明確で、留学による効果が期待できる者
- (4) 経済的理由により、自費のみでの留学が困難な者
- (5) 留学期間終了後、在籍大学に戻り学業を継続する者又は在籍大学の学位を取得する者
- (6) 派遣先大学所在国への留学に必要な査証を確実に取得し得る者
- (7) 諸外国の大学への留学にあたり、他団体等から留学のための奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額合計額が8万円を超えない者
- (8) 過去に本制度を利用したことのない者、もしくは本制度を利用して留学したことがある場合、その留学期間終了後3年を経過した者

(注1) 学部レベルにおける派遣にあつては、一定のカリキュラムの履修により、単位が認定される者を推薦するよう努めること。

(注2) 上記(7)について、他団体等から奨学金を受ける場合、当該奨学金支給団体側においては、本制度の奨学金との併給を認めない場合があるので、当該団体に確認すること。

(注3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する第一種奨学金及び第二種奨学金との併給は認められない。これらの奨学金を受給している者を候補者として推薦し、採用決定を受け諸外国の大学に留学する場合は、これらの奨学金の休止手続き(異動届の提出)をとること。

[照会先]

- 独立行政法人日本学生支援機構 留学情報センター
〒135-8630 東京都江東区青梅 2-2-1
TEL 03-5520-6161 (直通)
E-Mail: kaigai@jasso.go.jp
ホームページ <http://www.jasso.go.jp/>
- 海外安全相談センター (外務省領事局海外邦人安全課)
〒100-8919 東京都千代田区霞が関 2-2-1 (外務省庁舎内)
TEL 03-5501-8162 (直通)
ホームページ http://www.anzen.mofa.go.jp/about_center/index.html

XII 専門教育科目の開設授業科目表について

文化教育学部専門教育科目の授業科目は別表Ⅱから別表Ⅶのとおりです。

別表Ⅱ	学校教育課程専門教育科目（各選修共通）
別表ⅢA	学校教育課程専門教育科目（教育学選修）
別表ⅢB	学校教育課程専門教育科目（教育心理学選修）
別表ⅢC	学校教育課程専門教育科目（障害児教育選修）
別表ⅢD	学校教育課程専門教育科目（教科教育選修）
別表ⅢE	学校教育課程専門教育科目（数学選修）
別表ⅢF	学校教育課程専門教育科目（理科選修）
別表ⅢG	学校教育課程専門教育科目（音楽選修）
別表ⅣA	国際文化課程専門教育科目（日本・アジア文化選修）
別表ⅣB	国際文化課程専門教育科目（欧米文化選修）
別表ⅤA	人間環境課程専門教育科目（生活・環境・技術選修）
別表ⅤB	人間環境課程専門教育科目（健康福祉・スポーツ選修）
別表Ⅵ	美術・工芸課程専門教育科目
別表Ⅶ	教員免許状取得のための科目
別表Ⅷ	外国人留学生特別科目

◇ 表を見るときに諸注意

- ① 必修、選択の別の欄の「選必」は選択必修のことです。
選択必修とは、文化教育学部履修細則の別表中で必修として掲げられた授業科目のうち、いくつかの科目の単位数がカッコでくくられていて、それらの中から選択することになる授業科目のことを示しています。
- ② 必修、選択の別の欄の「A必」又は「B必」は、人間環境課程の生活・環境・技術選修の学生が選修の必修科目として選択したA群又はB群の科目のことを示しています。
- ③ 表の中に示されている小計欄の数値は、小計の対象になっている科目群の中から卒業要件として修得しなければならない単位数を示しています。
- ④ 担当教員欄の「()」は非常勤講師であることを示しています。
- ⑤ 週あたりの時間数欄の「集」は集中講義であることを示しています。
- ⑥ 備考欄のクラス分けは次の通りです。
 - 偶数クラス又は奇数クラスは、それぞれ学籍番号が偶数又は奇数の者が受講するクラスを示しています。
 - 課程のクラス分け
 - 1 1 1 （学校教育課程）
 - 1 1 2 （国際文化課程）
 - 1 1 3 （人間環境課程）
 - 1 1 4 （美術・工芸課程）
 - 学校教育課程のクラス分け

A B	└───┐	A	└───┐	A 1	（教育学選修，教育心理学選修，障害児教育選修）
				A 2	（数学選修，理科選修，音楽選修）
	└───┐	B	└───┐	B 1	（教科教育選修〈国語，社会，数学，理科〉）
				B 2	（教科教育選修〈音楽，造形，体育，家政，情報技術，英語〉）

別表Ⅱ(第4条第2項関係)
学校教育課程専門教育科目(各選修共通)

小学校教育課程専門教育科目(各選択共通)						週当たりの時間数								備考
科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	1年	2年	3年	4年					
						前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	現代教育論	必	2	講義	川上, 松下	2								111,114 奇数クラス 偶数クラス 111,114
	教育心理学	〃	2	〃	池田			2						
	教育心理学	〃	2	〃	大元			2						
	国際文化論	選必	2	〃	今野, 山本				2					
	生活文化論	〃	2	〃	田中豊		2							
	実践英語	〃	2	演習	(Angove)	2								
	実践英語	〃	2	〃	(Bowman)他		2							
	小計		6											
課程共通科目	教職概説	必	2	講義	川上		2							
	教育臨床心理学	〃	2	〃	網谷			2						
	授業実践論	〃	2	〃	佐長			2						
	小計		6											
専門科目	小学国語	必	1	講義	白石	2								Bクラス
	小学国語	〃	1	〃	白石		2							Aクラス
	小学書写	〃	1	実技	竹之内	2								B1
	小学書写	〃	1	〃	竹之内, (山口三)	2								B2
	小学書写	〃	1	〃	竹之内, (古賀利)		2							A1
	小学書写	〃	1	〃	竹之内		2							A2
	小学社会	〃	2	講義	山下他				2					Aクラス
	数学概説	〃	2	〃	河合	2								Bクラス
	数学概説	〃	2	〃	寺井		2							
	理科講義及び実験	〃	2	講・実	宮脇, 大隅, 石原, 角縁				4					
	生活科概説	〃	2	講義	前村, 佐長, 大元, 宮脇, 栗山, 中西					集(30)				
	小学音楽	〃	1	実習	板橋	2								A1クラス
	小学音楽	〃	1	〃	荒巻	2								B1クラス
	小学音楽	〃	1	〃	板橋		2							B2クラス
	小学音楽	〃	1	〃	荒巻		2							A2クラス
	小学ピアノ	〃	1	〃	高野	2								A2クラス
	小学ピアノ	〃	1	〃	山田	2								B2クラス
	小学ピアノ	〃	1	〃	古賀雅		2							B1クラス
	小学ピアノ	〃	1	〃	山田		2							A1クラス
	小学図画	〃	1	実技	栗山					2				Bクラス
	小学図画	〃	1	〃	栗山						2			Aクラス
	小学工作	〃	1	〃	前村						2			Bクラス
	小学工作	〃	1	〃	前村							2		Aクラス
	小学体育Ⅰ	〃	1	〃	山津, 堤, (八嶋)	2								表現運動・水泳・陸上運動
	小学体育Ⅱ	〃	1	〃	福本, 栗原, 坂元		2							器械運動・体づくり運動・ボール運動
	小学家庭Ⅰ	〃	1	演習	赤星, 澤島			2						
	小学家庭Ⅱ	〃	1	〃	甲斐, 小西					2				
	教育原論	〃	2	講義	園田, 池田			2						奇数クラス
	教育原論	〃	2	〃	池田, 園田			2						偶数クラス
	道德教育の研究	〃	2	〃	園田, 倉本				2					
	特別活動の研究	〃	2	〃	松下, 倉本				2					
	初等国語科教育法Ⅰ	〃	1	演習	羽田			2						奇数クラス
	初等国語科教育法Ⅰ	〃	1	〃	羽田			2						偶数クラス
	初等国語科教育法Ⅱ	〃	1	〃	羽田						2			
	初等社会科教育法Ⅰ	〃	1	〃	(未定)			2						
	初等社会科教育法Ⅱ	〃	1	〃	佐長						2			
	算数科教育法Ⅰ	〃	1	講義	瀧川			1						Aクラス
	算数科教育法Ⅱ	〃	1	演習	井上正						2			Bクラス
	算数科教育法Ⅱ	〃	1	〃	瀧川							2		
	初等理科教育法Ⅰ	〃	1	講義	佐藤				1					前半…Aクラス
	初等理科教育法Ⅰ	〃	1	〃	世波				1					後半…Bクラス
	初等理科教育法Ⅱ	選必	1	演習	世波						2			Aクラス
	初等理科教育法Ⅲ	〃	1	〃	佐藤, 石原						2			Bクラス

科目区分		授業科目	必修選 択の別	単位 数	授業 形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
							1 年		2 年		3 年		4 年		
							前	後	前	後	前	後	前	後	
専 門 科 目	学 校 教 育 科 目	生活科教育法	必	2	講義	世波,倉本,佐長					2				Aクラス Bクラス 前半…Bクラス 後半…Aクラス 奇数クラス 偶数クラス 奇数クラス 偶数クラス 偶数クラス 奇数クラス 2 事前・事後指導を含む 奇数クラス 偶数クラス
		初等音楽科教育法Ⅰ	〃	1	〃	山田			1						
		初等音楽科教育法Ⅱ	〃	1	実技	荒巻				2					
		初等音楽科教育法Ⅱ	〃	1	〃	山田				2					
		図工科教育法Ⅰ	〃	1	講義	前村				1					
		図工科教育法Ⅰ	〃	1	〃	前村				1					
		図工科教育法Ⅱ	〃	1	演習	前村他					2				
		図工科教育法Ⅱ	〃	1	〃	前村他						2			
		体育科教育法Ⅰ	〃	1	講義	福本,堤				1					
		体育科教育法Ⅱ	〃	1	演習	福本,堤					2				
		初等家庭科教育法Ⅰ	〃	1	講・演	中西			1						
		初等家庭科教育法Ⅰ	〃	1	講・演	中西			1						
		初等家庭科教育法Ⅱ	〃	1	演習	中西,甲斐					2				
		初等家庭科教育法Ⅱ	〃	1	〃	中西,甲斐						2			
		カウンセリング	〃	2	講義	網谷					2				
		教育実践フィールド演習Ⅰ	〃	2	演習			4							
		教育実践フィールド演習Ⅱ	〃	2	〃					2					
		教育実践フィールド演習Ⅲ	〃	2	〃						2				
		教職実践演習	〃	2	演習	佐長他							2		
		小学校教育実習	〃	5	実習										
		教育実践総合研究	選	1	〃										
		小学校英語活動	〃	2	講義	中村嘉		2							
		小学校英語活動	〃	2	〃	田中彰		2							
小 計				57	集()の()内の数字は,集中講義の時間数を表す										

別表ⅢA(第4条第2項関係)

学校教育課程専門教育科目(教育学選修)

学校教育課程専門教育科目（教育学専修）						週当たりの時間数								備考
科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	1年	2年	3年	4年					
						前後	前後	前後	前後					
専門基礎科目（別表Ⅱ）			6											
専 門 外 国 語 科 目	課程共通科目（別表Ⅱ）		6											
	学校教育科目（別表Ⅱ）		57											
	専門教育外国語Ⅰ	必	1	演習	（キネイン）他			2					2年次前に掲示	
	専門教育外国語Ⅱ	〃	1	〃	倉本				2				〃	
	小 計		2											
	教育社会学	必	2	講義	（村山）					2				
	人権教育論	〃	2	〃	松下				2					
	教育相談	〃	2	〃	網谷					2				
	生徒指導論	〃	2	〃	倉本				2					
	小 計		8											
	教育学研究法	選	2	演習	教育学全教員			2						
	教育学講読演習	〃	2	〃	教育学全教員					2				
	教育学課題研究	〃	2	〃	教育学全教員						2			
	教育思想史	〃	2	講義	（生馬）			2						
	人権意識論	〃	2	〃	松下					2				
	教育方法学概説	〃	2	〃	園田				2					
	視聴覚教育	〃	2	〃	園田					2				
	個別指導計画作成演習	〃	2	演習	園田					2				
	教育制度論	〃	2	講義	川上						2			
	学校・学級経営論	〃	2	〃	倉本				2					
	社会教育概論Ⅰ	〃	2	〃	上野			2						
	社会教育概論Ⅱ	〃	2	〃	上野				2					
	社会教育計画Ⅰ	〃	2	〃	松下				2					
	社会教育計画Ⅱ	〃	2	〃	上野					2				
	社会教育実習	〃	2	実習	上野							集(45)		
	高齢化と生涯教育	〃	2	講義	（岡）						集(30)		偶数年度開講	
	生涯教育演習	〃	2	演習	上野				2					
	国際化と生涯教育	〃	2	講義	（岩橋）			集(30)					奇数年度開講	
	臨床教育実習Ⅰ	〃	1	実習	池田,眞田,園田,松下,網谷						2			
	臨床教育実習Ⅱ	〃	1	〃	池田,眞田,園田,松下,網谷							2		
臨床教育演習	〃	1	演習	池田,眞田,園田,松下,網谷						2				
小 計		8	集()の()内の数字は,集中講義の時間数を表す											
自由選択科目		10	本表のほかに,本学部及び他学部の専門教育科目並びに共通専門教育科目並びに本学部の教員免許状取得のための科目のうちから履修することができる。											
卒業研究		必	4											
合 計		101												

別表ⅢB(第4条第2項関係)

学校教育課程専門教育科目(教育心理学選修)

科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
						1年	2年	3年	4年					
						前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目(別表Ⅱ)			6											
専門外国語科目	課程共通科目(別表Ⅱ)		6											
	学校教育科目(別表Ⅱ)		57											
	専門教育外国語Ⅰ	必	1	演習	(キネイン)他			2						2年次前に掲示
	専門教育外国語Ⅱ	〃	1	〃	大元			2						〃
	小 計		2											
	心理学研究法	必	2	講義	大元		2							
	人権教育論	〃	2	〃	松下				2					
	教育相談	〃	2	〃	網谷					2				
	生徒指導論	〃	2	〃	倉本					2				
	心理学実験Ⅰ	〃	1	実験	撫尾,大元			3						
	心理学実験Ⅱ	〃	1	〃	撫尾						3			
	教育統計Ⅰ	〃	2	講義	撫尾		2							
	小 計		12											
	基礎心理学ゼミナール	選	2	演習	池田		2							
	発達心理学ゼミナール	〃	2	〃	大元		2							
	心の健康	〃	2	講義	網谷		2							
	教育統計Ⅱ	〃	2	〃	撫尾					2				
	乳幼児心理学	〃	2	〃	大元					2				
	学習心理学	〃	2	〃	(未定)						2			
	教育評価	〃	2	〃	撫尾						2			
	発達神経心理学	〃	2	〃	(未定)		2							
	教育測定法	〃	2	〃	撫尾						2			
	学習心理学演習	〃	2	演習	(未定)						2			
	臨床心理学演習	〃	2	〃	(未定)							2		
	教育心理学演習	〃	2	〃	撫尾							2		
	教育心理学特殊講義	〃	2	講義	(未定)							集(30)		
	臨床教育実習Ⅰ	〃	1	実習	池田,眞田,園田,松下,網谷							1		
	臨床教育実習Ⅱ	〃	1	〃	池田,眞田,園田,松下,網谷								1	
臨床教育演習	〃	1	演習	池田,眞田,園田,松下,網谷							1			
小 計		8	集()の()内の数字は,集中講義の時間数を表す											
自由選択科目		6	本表のほかに,本学部及び他学部の専門教育科目並びに共通専門教育科目並びに本学部の教員免許状取得のための科目のうちから履修することができる。											
卒業研究		必	4											
合 計			101											

別表ⅢC(第4条第2項関係)

学校教育課程専門教育科目(障害児教育選修)

学校教育課程専門教育科目(障害元教育必修)					週当たりの時間数								備考		
科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	1年	2年	3年	4年						
						前	後	前	後	前	後	前		後	
専門基礎科目(別表Ⅱ)			6												
専門外国語科目	課程共通科目(別表Ⅱ)		6												
	学校教育科目(別表Ⅱ)		57												
	専門外国語科目	専門教育外国語Ⅰ	必	1	演習	(キネイン)他			2					2年次前に掲示	
		専門教育外国語Ⅱ	〃	1	〃	久野						2		〃	
		小 計		2											
	専門外国語科目	障害児教育総論	必	2	講義	芳野			2						
		障害児心理学	〃	2	〃	眞田		2							
		障害児学習指導法Ⅱ	〃	2	〃	芳野					2				
		知的障害児心理学	〃	2	〃	眞田			2						
		小 計		8											
		専門外国語科目	知的障害者の生理・病理	選	2	講義	久野					集(30)			奇数年度開講
			肢体不自由者の生理・病理	〃	2	〃	久野					2			
			病弱者・情緒障害者の生理・病理	〃	2	〃	久野		2						
			知的障害教育	〃	2	〃	芳野				2				
			障害児学習指導法Ⅰ	〃	2	〃	芳野					2			
			障害児学習指導法Ⅲ	〃	2	〃	芳野					2			
			障害者心理治療法	〃	2	〃	眞田						2		
			障害児心理検査法	〃	2	〃	眞田				2				
			知的障害児心理学演習	〃	2	演習	眞田					2			偶数年度開講
			視覚障害者の生理・病理	〃	2	講義	久野		2						偶数年度開講
			聴覚障害者の生理・病理	〃	2	〃	久野		2						偶数年度開講
			LD等教育指導論	〃	2	〃	眞田						2		
			重複障害教育論	〃	2	〃	芳野						2		
			聴覚障害者教育指導論	〃	2	〃	(養毛)					集(30)			
			特別支援学校参観	〃	1	演習	芳野		集(30)						
			障害児心理学実験	〃	1	実験	眞田							3	
			障害児教育実習	〃	3	実習									2
			臨床教育実習Ⅰ	〃	1	実習	池田,眞田,園田,松下,網谷						2		
臨床教育実習Ⅱ			〃	1	〃	池田,眞田,園田,松下,網谷							2		
臨床教育演習	〃		1	演習	池田,眞田,園田,松下,網谷						2				
小 計			10	集()の()内の数字は,集中講義の時間数を表す											
自由選択科目			8	本表のほかに,本学部及び他学部の専門教育科目並びに共通専門教育科目並びに本学部の教員免許状取得のための科目のうちから履修することができる。											
卒業研究			必	4											
合 計				101											

別表ⅢD(第4条第2項関係)

学校教育課程専門教育科目(教科教育選修)

科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
						1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	
						前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目(別表Ⅱ)			6											
課程共通科目(別表Ⅱ)			6											
学校教育科目(別表Ⅱ)			57											
専門 外国語科目	専門教育外国語Ⅰ	必	1	演習	(キネイン)他			2						
	専門教育外国語Ⅱ	〃	1	〃	教科教育教員他			2						
	小 計		2											
専 門 選 修 科 目	教科発達心理論	必	2	講義	世波,荒巻,栗山,佐長				2					
	教科教育授業設計論	〃	2	〃	前村,中村嘉竹之内,中西				2					
	教科教育情報論	〃	2	〃	角,田中彰,堤			2						
	小 計		6											
	国語科教育学	選	2	講義	羽田	2								偶数年度開講
	国語教育学演習	〃	2	演習	羽田		2							偶数年度開講
	国語科書写教育学	〃	2	講義	竹之内		2							偶数年度開講
	国語科教育課題研究Ⅰ	〃	2	演習	羽田				2					
	国語科教育課題研究Ⅱ	〃	2	〃	竹之内				2					
	日本語表現論	〃	2	講義	(未定)			2						
	日本文学史Ⅰ	〃	2	〃	今野			2						
	社会科教育学	〃	2	〃	佐長			2						
	社会科教育学演習	〃	2	演習	(未定)			2						
	社会科教育課題研究Ⅰ	〃	4	〃	佐長				2	2				
	社会科教育課題研究Ⅱ	〃	4	〃	(未定)				2	2				
	日本史要説	〃	2	講義	宮島			2						
	人文地理学	〃	2	〃	藤永			2						
	数学教育学	〃	2	〃	井上正					2				偶数年度開講
	数学教育学演習	〃	2	演習	井上正					2				奇数年度開講
	代数学基礎Ⅰ	〃	2	講義	寺井	2								
	幾何学基礎Ⅰ	〃	2	〃	河合	2								
	解析学基礎Ⅰ	〃	2	〃	藤田景	2								
	確率論基礎	〃	2	〃	西			2						
	理科教育学	〃	2	〃	世波,佐藤				2					
	理科教育学演習	〃	2	演習	世波,佐藤					2				
	理科教育課題研究Ⅰ	〃	2	〃	佐藤					2				
	理科教育課題研究Ⅱ	〃	2	〃	世波					2				
	科学者と歴史	〃	2	講義	世波		2							
	理科教育学実験	〃	2	実験	世波,佐藤				4					
	音楽教育学	〃	2	講義	荒巻			2						
	音楽科教育課題研究Ⅰ	〃	2	演習	山田,荒巻				2					
	音楽科教育課題研究Ⅱ	〃	2	〃	山田,荒巻					2				
	音楽教育学内容論Ⅰ	〃	2	実・演	荒巻				2					
	音楽教育学内容論Ⅱ	〃	2	〃	山田				2					
	音楽教育実践論	〃	2	演習	山田					2				
	美術教育学	〃	2	講義	前村					2				
	美術教育学演習	〃	2	演習	栗山					2				
	基礎デザイン	〃	2	実習	荒木,栗山		4							
	基礎デザイン	〃	2	〃	荒木,栗山			4						
	素描Ⅰ	〃	2	〃	牛塚, 小木曾	4								
	世界の美術	〃	2	講義	吉住			2						
	基礎染織工芸	〃	2	実習	田中嘉			4						
	保健体育教育学	〃	2	講義	福本,堤	2								
	保健体育教育学演習	〃	2	演習	福本,堤						2			
	体育科教育課題研究Ⅰ	〃	2	〃	福本,堤					2				
	体育科教育課題研究Ⅱ	〃	2	〃	福本,堤					2				
	スポーツⅠA1	〃	1	実技	福本,堤				2					A1体づくり運動
	スポーツⅠA2	〃	1	〃	福本	2								A2体操競技
	スポーツⅠA3	〃	1	〃	山津	2								A3水泳
	スポーツⅠA4	〃	1	〃	池上,(八嶋)	2								隔年奇数年度開講
	スポーツⅠB1	〃	1	〃	栗原	2								A4陸上競技
	スポーツⅠB2	〃	1	〃	坂元					2				隔年奇数年度開講
	スポーツⅠB3	〃	1	〃	池上					2				B1バスケットボール
	スポーツⅠC1	〃	1	〃	福本,堤		2							B2サッカー
														B3バレーボール
														C1ダンス

科目区分		授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考		
							1年	2年	3年	4年							
							前	後	前	後	前	後	前	後			
専 門 科 目	選 修 科 目	家庭科教育学	選	2	講義	中西	2								H 9月前半に家庭介護の集中講義と保育実習あり I J		
		家庭科教育学演習	〃	2	演習	中西		2									
		家庭科教育学課題研究A	〃	2	〃	中西			2								
		家庭科教育学課題研究B	〃	2	〃	中西				2							
		家庭科教育学課題研究C	〃	1	実習	中西					2						
		家庭科教育学課題研究D	〃	1	〃	中西						2					
		保育学Ⅰ	〃	2	講・実	中西,(幸松)			2								
		現代社会の家族	〃	2	講義	赤星				2							
		技術教育学	〃	2	〃	角				2							
		技術教育学演習	〃	2	演習	中村隆					2						
		情報技術教育課題研究	〃	2	〃	角					2						
		情報技術教育課題研究	〃	2	〃	中村隆						2					
		生活環境電磁気学	〃	2	講義	角	2										
		ヒューマンエレクトロニクスⅠ	〃	2	〃	角, 中村隆			2								
		プログラミング演習Ⅱ	〃	2	演習	角					2						
		英語教育学	〃	2	講義	中村嘉					2						
		英語教育学演習	〃	2	演習	中村嘉						2					
		英語科教育課題研究	〃	2	〃	中村嘉,田中彰					2						
		英語学概論Ⅰ	〃	2	講義	田中彰					2						
	英語音声学Ⅰ	〃	2	〃	田中彰			2									
		* 選択科目としてAからJまでのいずれか1つの分野から10単位を履修しなければならない。															
		小 計	10	集()の()内の数字は,集中講義の時間数を表す													
		自由選択科目	10	本表のほかに,本学部及び他学部の専門教育科目並びに共通専門教育科目並びに本学部の教員免許状取得のための科目のうちから履修することができる。													
		卒業研究	必	4													
		合 計	101														

別表ⅢE(第4条第2項関係)
学校教育課程専門教育科目(数学選修)

科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考	
						1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後		
専門基礎科目(別表Ⅱ)			6												
専 門 科 目	課程共通科目(別表Ⅱ)		6												
	学校教育科目(別表Ⅱ)		57												
	専門 外国語科目	専門教育外国語Ⅰ	必	1	演習	(キネイン)他			2						
		専門教育外国語Ⅱ	〃	1	〃	西他						2			
		小 計		2											
	選 修 科 目	身のまわりの数学	必	2	実習	西,井上正,河合,瀧川,寺井,藤田景,庄田	4								
		コンピュータⅠ	〃	2	講義	瀧川			2						
		代数学基礎Ⅰ	〃	2	〃	寺井		2							
		幾何学基礎Ⅰ	〃	2	〃	河合		2							
		解析学基礎Ⅰ	〃	2	〃	藤田景		2							
		確率論基礎	〃	2	〃	西			2						
		小 計		12											
		身近な現象のサイエンス	選	2	講義	石原,宮脇,角縁,川田)		2							
		コンピュータⅡ	〃	2	〃	瀧川				2					
		統計学基礎	〃	2	〃	西				2					
		確率論	〃	2	〃	西						2		偶数年度開講	
		統計学	〃	2	〃	西						2		奇数年度開講	
		応用数学	〃	2	〃	(未定)						2		開講未定	
		代数学基礎Ⅱ	〃	2	〃	寺井		2							
		代数学Ⅰ	〃	2	〃	寺井			2					奇数年度開講	
		代数学Ⅱ	〃	2	〃	寺井				2				開講未定	
		代数学Ⅲ	〃	2	〃	庄田				2				偶数年度開講	
		代数学Ⅳ	〃	2	〃	庄田					2			開講未定	
		幾何学基礎Ⅱ	〃	2	〃	庄田		2							
		幾何学Ⅰ	〃	2	〃	庄田			2					奇数年度開講	
		幾何学Ⅱ	〃	2	〃	河合				2				開講未定	
		幾何学Ⅲ	〃	2	〃	河合				2				偶数年度開講	
		幾何学Ⅳ	〃	2	〃	河合					2			開講未定	
		解析学基礎Ⅱ	〃	2	〃	藤田景		2							
		解析学Ⅰ	〃	2	〃	藤田景			2					奇数年度開講	
		解析学Ⅱ	〃	2	〃	藤田景				2				開講未定	
		解析学Ⅲ	〃	2	〃	庄田				2				偶数年度開講	
		解析学Ⅳ	〃	2	〃	河合					2			開講未定	
		コンピュータ研究基礎	〃	2	〃	瀧川						2			
		代数学研究基礎	〃	2	〃	寺井						2			
	幾何学研究基礎	〃	2	〃	庄田						2				
幾何学研究基礎	〃	2	〃	河合						2					
解析学研究基礎	〃	2	〃	井上正						2					
解析学研究基礎	〃	2	〃	藤田景						2					
統計学研究基礎	〃	2	〃	西						2					
コンピュータ領域研究Ⅰ	〃	2	〃	瀧川							2				
コンピュータ領域研究Ⅱ	〃	2	〃	瀧川								2			
代数学領域研究Ⅰ	〃	2	〃	寺井							2				
代数学領域研究Ⅱ	〃	2	〃	寺井								2			
幾何学領域研究Ⅰ	〃	2	〃	庄田							2				
幾何学領域研究Ⅱ	〃	2	〃	庄田								2			
幾何学領域研究Ⅰ	〃	2	〃	河合							2				
幾何学領域研究Ⅱ	〃	2	〃	河合								2			
解析学領域研究Ⅰ	〃	2	〃	井上正							2				
解析学領域研究Ⅱ	〃	2	〃	井上正								2			
解析学領域研究Ⅰ	〃	2	〃	藤田景							2				
解析学領域研究Ⅱ	〃	2	〃	藤田景								2			
統計学領域研究Ⅰ	〃	2	〃	西							2				
統計学領域研究Ⅱ	〃	2	〃	西								2			
情報社会と倫理	〃	2	〃	大元	集(30)										
コンピュータハードウェア	〃	2	〃	松本		2									
コンピュータ演習Ⅰ	〃	2	演習	瀧川	2										
コンピュータソフトウェア	〃	2	講義	中島			2								
コンピュータ演習Ⅱ	〃	2	演習	瀧川			2								
計測・制御実験	〃	2	実験	松本, 小野文						4					
情報システム論	〃	2	講義	中村隆			2					奇数年度開講			

科目区分		授業科目	必修選 択の別	単位 数	授業 形態	担当教員	週当たりの時間数								備 考
							1 年		2 年		3 年		4 年		
							前	後	前	後	前	後	前	後	
専 門 科 目	選 修 科 目	情報システム演習Ⅰ	選	2	演習	瀧川			2					奇数年度開講	
		情報システム演習Ⅱ	〃	2	〃	大隅			2						
		統計情報システム	〃	2	講義	西, 瀧川				2					
		情報ネットワーク論Ⅰ	〃	2	〃	大隅			2						
		情報ネットワーク演習Ⅰ	〃	2	演習	岡島			2						
		情報ネットワーク論Ⅱ	〃	2	講義	岡島				2					
		情報ネットワーク演習Ⅱ	〃	2	演習	(江藤)					2				
		情報メディア論	〃	2	講義	角	2								
		マルチメディアを用いた図形処理	〃	2	演習	中島			2						
		計算機シミュレーション	〃	2	〃	大隅				2					
		画像解析	〃	2	〃	岡島, (未定)			集(30)						
		デジタル画像論	〃	2	講義	(未定)					2				
		情報と職業	〃	2	〃	(山下)					集(30)				
	小 計			10	集()の()内の数字は,集中講義の時間数を表す										
自由選択科目			4	本表のほかに,本学部及び他学部の専門教育科目並びに共通専門教育科目並びに本学部の教員免許 状取得のための科目のうちから履修することができる。											
卒業研究		必	4												
合 計			101												

別表ⅢF(第4条第2項関係)
学校教育課程専門教育科目(理科選修)

科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
						1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	
専門基礎科目(別表Ⅱ)			6											
課程共通科目(別表Ⅱ)			6											
学校教育科目(別表Ⅱ)			57											
専門 外国 語 科 目	専門教育外国語Ⅰ	必	1	演習	(キネイン)他			2						
	専門教育外国語Ⅱ	〃	1	〃	石原,宮脇,角縁,嬉					2				
	小 計		2											
専 門 選 修 科 目	身近な現象のサイエンス	必	2	講義	石原,宮脇,角縁,(川田)		2							
	物理学通論Ⅲ	〃	1	〃	大隅			1						
	物理学通論Ⅳ	〃	1	〃	大隅			1						
	化学通論Ⅰ	〃	1	〃	石原			1						
	化学通論Ⅱ	〃	1	〃	石原			1						
	生物学通論Ⅰ	〃	1	〃	宮脇	1								
	生物学通論Ⅱ	〃	1	〃	宮脇	1								
	地学通論Ⅰ	〃	1	〃	角縁	1								
	地学通論Ⅱ	〃	1	〃	角縁	1								
	物理学基礎実験Ⅰ	選必	1	実験	大隅				2					
	物理学基礎実験Ⅱ	〃	1	〃	大隅				2					
	化学基礎実験Ⅰ	〃	1	〃	石原				2					
	化学基礎実験Ⅱ	〃	1	〃	石原				2					
	生物学基礎実験Ⅰ	〃	1	〃	宮脇				2					
	生物学基礎実験Ⅱ	〃	1	〃	嬉				2					
	地学基礎実験Ⅰ	〃	1	〃	角縁				2					
	地学基礎実験Ⅱ	〃	1	〃	角縁				2					
	小 計		16											6 いずれか6単位選 択必修。超過単位 は選修選択科目 単位とすることが できる。
科 目	理科コンピュータ演習	選	2	演習	嬉		2							
	身のまわりの数学	〃	2	実習	西,井上正,河合,瀧川,寺井,藤田景,庄田	4								
	物理学通論Ⅰ	〃	1	講義	中村聡	1								
	物理学通論Ⅱ	〃	1	〃	中村聡	1								
	力学	〃	2	〃	中村聡			2					偶数年度開講	
	電磁気学	〃	2	〃	大隅					2				
	原子物理	〃	2	〃	中村聡				2				奇数年度開講	
	放射線科学	〃	2	〃	大隅					2			偶数年度開講	
	固体物理	〃	2	〃	(川田)					2				
	電子物性	〃	2	〃	(川田)						2		偶数年度開講	
	化学通論Ⅲ	〃	1	〃	岡島			1						
	化学通論Ⅳ	〃	1	〃	岡島			1						
	無機化学	〃	2	〃	石原					2			奇数年度開講	
	物理化学	〃	2	〃	石原					2			偶数年度開講	
	物質環境科学	〃	2	〃	岡島				2					
	有機化学	〃	2	〃	岡島						2			
	分析化学	〃	2	〃	石原,中島,岡島					2			奇数年度開講	
	生物学通論Ⅲ	〃	1	〃	嬉			1						
	生物学通論Ⅳ	〃	1	〃	嬉			1						
	生命科学	〃	2	〃	嬉				2					
	植物分類学	〃	2	〃	宮脇				2					
	植物分類学演習	〃	2	演習	宮脇				2					
	動物生理学	〃	2	講義	嬉					2				
	分子生物学	〃	2	〃	(上田)					2			奇数年度開講	
	動物生態学	〃	2	〃	(未定)						集(30)		開講未定	
	フィールド生物学	〃	2	演習	宮脇,嬉				集(30)				偶数年度開講	
	地学通論Ⅲ	〃	1	講義	高島	1								
	地学通論Ⅳ	〃	1	〃	高島	1								
	地球環境科学	〃	2	〃	高島				2				偶数年度開講	
	進化古生物学	〃	2	〃	(未定)						集(30)			
	岩石鉱物学	〃	2	〃	角縁						2		奇数年度開講	
	天文学	〃	2	〃	(藤澤)				集(30)					
	地学巡検	〃	2	実験	角縁,高島				集(60)					
小 計		8	集()の()内の数字は,集中講義の時間数を表す											
自由選択科目		2	本表のほかに,本学部及び他学部の専門教育科目並びに共通専門教育科目並びに本学部の教員免許 状取得のための科目のうちから履修することができる。											
卒業研究		必	4											
計		101												

別表ⅢG(第4条第2項関係)
学校教育課程専門教育科目(音楽選修)

科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考		
						1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後			
専門基礎科目(別表Ⅱ)			6													
専 門 外 国 語 科 目	課程共通科目(別表Ⅱ)		6													
	学校教育科目(別表Ⅱ)		57													
	専門教育外国語Ⅰ	必	1	演習	(キネイン)他			2								
	専門教育外国語Ⅱ	〃	1	〃	高野						2					
	小 計		2													
	選	ソルフエージュⅠ	必	1	演習	今井	2								2単位まで累積可 隔年奇数年度開講 Ⅰ,Ⅱの順に履修すること Ⅰ,Ⅱの順に履修すること 〃	
		ソルフエージュⅡ	〃	1	〃	今井		2								
		ソルフエージュⅢ	〃	1	〃	今井			2							
		ソルフエージュⅣ	〃	1	〃	今井				2						
		ピアノⅠ	〃	1	〃	古賀雅	2									
		合唱	〃	1	〃	板橋			2							
		音楽理論演習Ⅰ	〃	1	〃	橋本			2							
		指揮法Ⅰ	〃	1	〃	今井				2						
		合奏	〃	1	〃	今井				2						
		音楽史Ⅱ	〃	2	講義	高野				2						
		音楽基礎理論Ⅰ	〃	2	〃	高野	2									
		音楽基礎理論Ⅱ	〃	1	演習	高野		2								
		小 計		14												
		修 科 目	音楽教育学	選	2	講義	荒巻			2						
	音楽科教育課題研究Ⅱ		〃	2	演習	山田,荒巻					2					
	音楽教育学内容論Ⅰ		〃	2	実・演	荒巻				2						
	音楽教育学内容論Ⅱ		〃	2	〃	山田				2						
	音楽教育実践論		〃	2	演習	山田						2				
	声楽Ⅰ		〃	1	実習	板橋	2									
	声楽Ⅱ		〃	1	〃	板橋		2								
	声楽Ⅲ		〃	1	〃	板橋			2							
	声楽Ⅳ		〃	1	〃	板橋				2						
	声楽Ⅴ		〃	1	〃	板橋					2					
	声楽Ⅵ		〃	1	〃	板橋						2				
	声楽Ⅶ		〃	1	〃	板橋							2			
	声楽課題研究		〃	1	演習	板橋								2		
	ピアノⅡ		〃	1	実習	古賀雅		2								
	ピアノⅢ		〃	1	〃	古賀雅			2							
	ピアノⅣ		〃	1	〃	古賀雅				2						
	ピアノⅤ		〃	1	〃	古賀雅					2					
	ピアノⅥ		〃	1	〃	古賀雅						2				
	ピアノⅦ		〃	1	〃	古賀雅							2			
	ピアノ課題研究		〃	1	演習	古賀雅								2		
	器楽Ⅰ		〃	1	実習	今井			2							
	器楽Ⅱ		〃	1	〃	今井				2						
	指揮法Ⅱ		〃	1	演習	今井					2					
	音楽実践課題研究		〃	1	〃	今井								2		
	音楽史Ⅰ		〃	2	講義	高野			2							
	音楽学課題研究		〃	1	演習	高野								2		
	伴奏法Ⅰ		〃	1	実習	橋本					2					
	伴奏法Ⅱ		〃	1	〃	橋本						2				
	音楽理論演習Ⅱ		〃	1	演習	橋本				2						
	音楽理論演習Ⅲ		〃	1	〃	橋本					2					
	音楽理論演習Ⅳ		〃	1	〃	橋本						2				
	編曲法		〃	1	〃	橋本							2			
	作曲法		〃	1	〃	橋本								2		
	作曲課題研究		選	1	演習	橋本								2		
	日本・民族音楽概説		〃	2	講義	(山本)	集(30)									
	日本伝統音楽実習Ⅰ		〃	1	実習	(林)					2					
	日本伝統音楽実習Ⅱ		〃	1	〃	(林)					2					
	小 計		6	集()の()内の数字は,集中講義の時間数を表す												
自由選択科目		6	本表のほかに,本学部及び他学部の専門教育科目並びに共通専門教育科目並びに本学部の教員免許状取得のための科目のうちから履修することができる。													
卒業研究		必	4													
合 計			101													

別表ⅣA(第4条第3項関係)

国際文化課程専門教育科目(日本・アジア文化選修)

科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
専基科 門礎目	国際文化論	必修	2	講義	今野, 山本			2						112,113 112,113 奇数クラス 偶数クラス
	現代教育論		2	〃	松下, 川上	2								
	教育心理学		2	〃	池田			2						
	教育心理学		2	〃	大元			2						
	生活文化論		2	〃	田中豊		2							
	実践英語		2	演習	(Angove)	2								
	実践英語	〃	2	〃	(Bowman)他		2							
小計			6											
課程共通科目	日本・アジアの社会と文化	必修	2	講義	土屋, 永島	2								
	欧米の社会と文化	〃	2	〃	早瀬		2							
小計			4											
専門外語科目	英語1	選必修	1	演習	山中			2						
	英語2	〃	1	〃	ジェンバー				2					
	英語3	〃	1	〃	小野					2				
	英語4	〃	1	〃	ジェンバー						2			
	ドイツ語1	〃	1	〃	吉中	2								
	ドイツ語2	〃	1	〃	吉中		2							
	ドイツ語3	〃	1	〃	エーベル	2								
	ドイツ語4	〃	1	〃	エーベル		2							
	ドイツ語5	〃	1	〃	(重竹)			2						
	ドイツ語6	〃	1	〃	(重竹)				2					
	ドイツ語7	〃	1	〃	エーベル			2						
	ドイツ語8	〃	1	〃	エーベル				2					
	ドイツ語9	〃	1	〃	吉中					2				
	ドイツ語10	〃	1	〃	吉中						2			
	フランス語1	〃	1	〃	相野	2								
	フランス語2	〃	1	〃	相野		2							
	フランス語3	〃	1	〃	古賀豊	2								
	フランス語4	〃	1	〃	古賀豊		2							
	フランス語5	〃	1	〃	相野			2						
	フランス語6	〃	1	〃	相野				2					
	フランス語7	〃	1	〃	古賀豊			2						
	フランス語8	〃	1	〃	古賀豊				2					
	フランス語9	〃	1	〃	相野					2				
	フランス語10	〃	1	〃	相野						2			
	中国語1	〃	1	〃	古川	2								
	中国語2	〃	1	〃	古川		2							
	中国語3	〃	1	〃	土屋	2								
	中国語4	〃	1	〃	土屋		2							
	中国語5	〃	1	〃	土屋			2						
	中国語6	〃	1	〃	土屋				2					
	中国語7	〃	1	〃	古川			2						
	中国語8	〃	1	〃	古川				2					
	中国語9	〃	1	〃	中尾					2				
	中国語10	〃	1	〃	中尾						2			
	朝鮮語1	〃	1	〃	永島	2								
	朝鮮語2	〃	1	〃	永島		2							
	朝鮮語3	〃	1	〃	永島	2								
	朝鮮語4	〃	1	〃	永島		2							
	朝鮮語5	〃	1	〃	(小野)			2						
	朝鮮語6	〃	1	〃	(小野)				2					
	朝鮮語7	〃	1	〃	(高)			2						
	朝鮮語8	〃	1	〃	(高)				2					
	朝鮮語9	〃	1	〃	張					2				
	朝鮮語10	〃	1	〃	張						2			
	専門教育外国語Ⅰ	〃	1	〃	塚本			2						
	専門教育外国語Ⅱ	〃	1	〃	山崎				2					
専門外国語科目の履修方法は、次のいずれかによる。														
1) ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語の中から1つを選んで10単位を、さらに英語1・英語2・英語3・英語4・専門教育外国語Ⅰ・専門教育外国語Ⅱから2単位、計12単位を修得する。														
2) ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語の中から1つを選んで8単位を、さらに英語1・英語2・英語3・英語4・専門教育外国語Ⅰ・専門教育外国語Ⅱから4単位、計12単位を修得する。														
外国人留学生の専門外国語科目の履修方法については、別に定める。														
3) 国際文化課程の学生が専門教育外国語Ⅰ・Ⅱの履修を希望する場合には、国際文化課程で開講されている同科目を受講し、他課程開講の専門教育外国語は受講しないようにすること。														
小計			12											

科目区分		授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考	
							1年		2年		3年		4年			
							前	後	前	後	前	後	前	後		
専門科目	選択科目	<A群>													<A群>から12単位選択必修。 超過単位は、選修選択科目単位とすることができる。	
		中国文学講義	選必	2	講義	古川	2									
		中国文学史論	〃	2	〃	土屋		2								
		日本古典比較文学論	〃	2	〃	白石		2								
		東アジア国際関係史	〃	2	〃	佐々木		2								
		国際経済論	〃	2	〃	張				2						
		言語学要論	〃	2	〃	塚本		2								
		韓国・朝鮮社会文化史論	〃	2	〃	永島			2							
		東南アジアの国家と社会	〃	2	〃	山崎			2							
		朝鮮の社会と文化	〃	2	〃	森			2							
		日本の言語と文化	〃	2	〃	浦田, 藤田勝, (未定)				2						
		日中比較思想論	〃	2	〃	近藤				2						
		日本社会経済史	〃	2	〃	宮島				2						
		中国語文章論	〃	2	〃	古川, 中尾				2						
		日本近現代史	〃	2	〃	宮島, 鬼嶋			2							
		<B群>														<B群>から4単位選択必修。 各科目4単位まで累積可。 超過単位は、選修選択科目単位とすることができる。
		日本前近代史演習Ⅰ	選必	2	演習	宮島					2					
		日本前近代史演習Ⅱ	〃	2	〃	宮島						2				
		日本近現代史演習Ⅰ	〃	2	〃	宮島, 鬼嶋						2				
		日本近現代史演習Ⅱ	〃	2	〃	宮島, 鬼嶋							2			
	日本古典文学演習Ⅰ	〃	2	〃	今野					2						
	日本古典文学演習Ⅱ	〃	2	〃	今野						2					
	日本古典文学演習Ⅲ	〃	2	〃	白石					2						
	日本古典文学演習Ⅳ	〃	2	〃	白石						2					
	日本近代文学演習Ⅰ	〃	2	〃	浦田					2						
	日本近代文学演習Ⅱ	〃	2	〃	浦田							2				
	日本語史演習Ⅰ	〃	2	〃	(未定)						2					
	日本語史演習Ⅱ	〃	2	〃	(未定)							2				
	日本語学演習	〃	2	〃	藤田勝						2					
	日本語学演習Ⅱ	〃	2	〃	藤田勝							2				
	中国思想史演習Ⅰ	〃	2	〃	近藤					2						
	中国思想史演習Ⅱ	〃	2	〃	近藤							2				
	中国文学演習Ⅰ	〃	2	〃	古川						2					
	中国文学演習Ⅱ	〃	2	〃	古川							2				
	中国語学演習Ⅰ	〃	2	〃	土屋						2					
	中国語学演習Ⅱ	〃	2	〃	土屋							2				
	現代中国語演習Ⅰ	〃	2	〃	古川, 中尾						2					
	現代中国語演習Ⅱ	〃	2	〃	古川, 中尾							2				
	東洋史演習Ⅰ	〃	2	〃	佐々木						2					
	東洋史演習Ⅱ	〃	2	〃	佐々木								2			
	国際政治学演習Ⅰ	〃	2	〃	森						2					
	国際政治学演習Ⅱ	〃	2	〃	森								2			
	韓国・朝鮮学演習Ⅰ	〃	2	〃	永島						2					
	韓国・朝鮮学演習Ⅱ	〃	2	〃	永島							2				
	東南アジア学演習Ⅰ	〃	2	〃	山崎						2					
東南アジア学演習Ⅱ	〃	2	〃	山崎								2				
国際経済論演習Ⅰ	〃	2	〃	張						2						
国際経済論演習Ⅱ	〃	2	〃	張							2					
SEM語学演習Ⅰ	〃	2	〃	塚本						2						
SEM語学演習Ⅱ	〃	2	〃	塚本							2					
		小計		16												
		アジア経済論	選	2	講義	張	2									
		日本史上の市(いち)と都市	〃	2	〃	宮島					2					
		近代日本の社会と国家	〃	2	〃	鬼嶋						2				
		日本史要説	〃	2	〃	宮島				2						
		日本文学史Ⅰ	〃	2	〃	今野				2						
		日本文学史Ⅱ	〃	2	〃	浦田					2					
		日本古典文学論	〃	2	〃	今野						2				
		日本近世文学論	〃	2	〃	白石	2									
		日本近代文学論	〃	2	〃	浦田	2									

科目区分		授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
							1 年		2 年		3 年		4 年		
							前	後	前	後	前	後	前	後	
専 科 目	選 修 科 目	文学と地域文化	選	2	講義	白石		2							偶数年度開講
		地域古典籍分析論	〃	2	〃	白石					2				
		現代日本語論	〃	2	〃	藤田勝		2							
		日本語要説	〃	2	〃	(未定)	2								
		日本語史	〃	2	〃	(未定)					2				
		日本語表現論	〃	2	〃	(未定)				2					
		日本語文法論	〃	2	〃	藤田勝				2					
		日本語音声学	〃	2	〃	藤田勝					2				
		西アジアの言語	〃	2	〃	塚本					2				
		西アジアの文化	〃	2	〃	塚本				2					
		中国思想史Ⅰ	〃	2	〃	近藤				2					
		中国思想史Ⅱ	〃	2	〃	近藤					2				
		日中交渉史	〃	2	〃	佐々木					2				
		東洋史要説	〃	2	〃	佐々木				2					
		東南アジア国際関係論	〃	2	〃	山崎		2							
		朝鮮政治文化論	〃	2	〃	森					2			偶数年度開講 奇数年度開講	
		朝鮮現代政治史	〃	2	〃	森					2				
		朝鮮史	〃	2	〃	永島	2								
		日朝関係史	〃	2	〃	永島		2							
		政治学	〃	2	〃	森				2					
		国際政治学要論	〃	2	〃	山崎					2				
		西洋史要説	〃	2	〃	都築	2								
		法学要論	〃	2	〃	吉岡				2					
		社会学要論	〃	2	〃	田中豊				2					
		経済学要論	〃	2	〃	諸泉					2				
		哲学要論Ⅰ	〃	2	〃	山本					2				
		哲学要論Ⅱ	〃	2	〃	山本					2				
		人文地理学	〃	2	〃	藤永				2					
		自然地理学	〃	2	〃	藤永					2				
		世界地誌	〃	2	〃	藤永						2			
		日本語教育概論	〃	2	〃	(下条, 山田)		2							
		日本語教授法Ⅰ	〃	2	〃	(横溝)				2					
	日本語教授法Ⅱ	〃	2	〃	(横溝)					2					
	日本語教育実習	〃	4	実習	(横溝)						4				
	海外実習	〃	2	演習	(未定)										
	日蘭文化交流史論	〃	2	講義	(青木)				2						
西日本地域史論	〃	2	〃	(伊藤)					2						
小 計			22	集()の()内の数字は,集中講義の時間数を表す											
自由選択科目			25	本表のほかに,本学部及び他学部の専門教育科目並びに共通専門教育科目並びに本学部の教員免許状取得のための科目のうちから履修することができる。なお、別表ⅣAの専門基礎科目の選択必修の分(「現代教育論」以下)、専門科目のうちの専門外国語科目及び選修科目(選択必修、選択)で、卒業に必要な単位を超えて修得した単位は、自由選択科目の単位とすることができる。											
卒業研究		必	6												
合 計			91												

別表IVB(第4条第3項関係)

国際文化課程専門教育科目(欧米文化選修)

科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
						1年	2年	3年	4年					
						前	後	前	後	前	後	前	後	
専 門 基 礎 科	国際文化論	必	2	講義	今野, 山本			2						112,113 112,113 奇数クラス 偶数クラス
	現代教育論	選必	2	〃	松下, 川上	2								
	教育心理学	〃	2	〃	池田			2						
	教育心理学	〃	2	〃	大元			2						
	生活文化論	〃	2	〃	田中豊		2							
	実践英語	〃	2	演習	(Angove)	2								
	実践英語	〃	2	〃	(Bowman)他		2							
小 計			6											
課程共通科目	日本・アジアの社会と文化	必	2	講義	土屋, 永島	2								
	欧米の社会と文化	〃	2	〃	早瀬		2							
小 計			4											
専 門 外 国 語 科 目	英語1	選必	1	演習	山中			2						
	英語2	〃	1	〃	ジェンバー				2					
	英語3	〃	1	〃	小野					2				
	英語4	〃	1	〃	ジェンバー						2			
	ドイツ語1	〃	1	〃	吉中	2								
	ドイツ語2	〃	1	〃	吉中		2							
	ドイツ語3	〃	1	〃	エーベル	2								
	ドイツ語4	〃	1	〃	エーベル		2							
	ドイツ語5	〃	1	〃	(重竹)			2						
	ドイツ語6	〃	1	〃	(重竹)				2					
	ドイツ語7	〃	1	〃	エーベル			2						
	ドイツ語8	〃	1	〃	エーベル				2					
	ドイツ語9	〃	1	〃	吉中					2				
	ドイツ語10	〃	1	〃	吉中						2			
	フランス語1	〃	1	〃	相野	2								
	フランス語2	〃	1	〃	相野		2							
	フランス語3	〃	1	〃	古賀豊	2								
	フランス語4	〃	1	〃	古賀豊		2							
	フランス語5	〃	1	〃	相野			2						
	フランス語6	〃	1	〃	相野				2					
	フランス語7	〃	1	〃	古賀豊			2						
	フランス語8	〃	1	〃	古賀豊				2					
	フランス語9	〃	1	〃	相野					2				
	フランス語10	〃	1	〃	相野						2			
	中国語1	〃	1	〃	古川	2								
	中国語2	〃	1	〃	古川		2							
	中国語3	〃	1	〃	土屋	2								
	中国語4	〃	1	〃	土屋		2							
	中国語5	〃	1	〃	土屋			2						
	中国語6	〃	1	〃	土屋				2					
	中国語7	〃	1	〃	古川			2						
	中国語8	〃	1	〃	古川				2					
	中国語9	〃	1	〃	中尾					2				
	中国語10	〃	1	〃	中尾						2			
	朝鮮語1	〃	1	〃	永島	2								
	朝鮮語2	〃	1	〃	永島		2							
	朝鮮語3	〃	1	〃	永島	2								
	朝鮮語4	〃	1	〃	永島		2							
	朝鮮語5	〃	1	〃	(小野)			2						
	朝鮮語6	〃	1	〃	(小野)				2					
	朝鮮語7	〃	1	〃	(高)			2						
	朝鮮語8	〃	1	〃	(高)				2					
	朝鮮語9	〃	1	〃	張					2				
	朝鮮語10	〃	1	〃	張						2			
	専門教育外国語Ⅰ	〃	1	〃	相澤			2						
	専門教育外国語Ⅱ	〃	1	〃	都築				2					
専門外国語科目の履修方法は、次のいずれかによる。														
1) ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語の中から1つを選んで10単位を、さらに英語1・英語2・英語3・英語4・専門教育外国語Ⅰ・専門教育外国語Ⅱから2単位、計12単位を修得する。														
2) ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語の中から1つを選んで8単位を、さらに英語1・英語2・英語3・英語4・専門教育外国語Ⅰ・専門教育外国語Ⅱから4単位、計12単位を修得する。														
外国人留学生の専門外国語科目の履修方法については、別に定める。														
3) 国際文化課程の学生が専門教育外国語Ⅰ・Ⅱの履修を希望する場合には、国際文化課程で開講されている同科目を受講し、他課程開講の専門教育外国語は受講しないようにすること。														
小 計			12											

科目区分		授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
							1年		2年		3年		4年		
							前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	選修	スピーチ・コミュニケーション論	選必	2	講義	熊本				2				超過単位は 選修選択科目単位と することができる。	
		近代欧米文学論Ⅰ	〃	2	〃	早瀬					2				
		国際連合論	〃	2	〃	高橋				2					
		現代欧米の法と政治Ⅰ	〃	2	〃	吉岡	2								
		欧米社会経済思想史Ⅰ	〃	2	〃	諸泉			2						
		芸術文化論	〃	2	〃	相澤		2							
		近代西洋思想	〃	2	〃	後藤		2							
		哲学要論Ⅰ	〃	2	〃	山本			2						
		イギリス政治史	〃	2	〃	都築				2					
		国際文化概論	〃	2	〃	木原他		2							
		小計				12									
	必修	(欧米の歴史・社会・思想)													奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講
		ヨーロッパ文化論	選	2	講義	(未定)	2								
		現代ヨーロッパ社会論	〃	2	〃	(未定)	2								
		欧米社会経済思想史Ⅱ	〃	2	〃	諸泉				2					
		近代ヨーロッパの国家と社会	〃	2	〃	(北村)		2							
		中世ヨーロッパの国家と社会	〃	2	〃	都築			2						
		近代ヨーロッパ社会史	〃	2	〃	(北村)			2						
		西洋史要説	〃	2	〃	都築	2								
		国際社会の正義と秩序Ⅰ	〃	2	〃	高橋			2						
		国際社会の正義と秩序Ⅱ	〃	2	〃	高橋				2					
		法学要論	〃	2	〃	吉岡			2						
		現代欧米の法と政治Ⅱ	〃	2	〃	吉岡		2							
		経済学要論	〃	2	〃	諸泉				2					
		市民社会と倫理	〃	2	〃	後藤		2							
		倫理学要論	〃	2	〃	後藤			2						
		哲学要論Ⅱ	〃	2	〃	山本				2					
		哲学要論Ⅲ	〃	2	〃	山本				2					
		プラトン哲学Ⅰ	〃	2	〃	山本			2						
		プラトン哲学Ⅱ	〃	2	〃	山本				2					
		美学思想史	〃	2	〃	相澤			2						
		現代美学論	〃	2	〃	相澤				2					
		西洋中世史演習Ⅰ	〃	2	演習	都築					2				
		西洋中世史演習Ⅱ	〃	2	〃	都築						2			
		西洋近代史演習Ⅰ	〃	2	〃	(未定)					2				
		西洋近代史演習Ⅱ	〃	2	〃	(未定)						2			
		法学演習Ⅰ	〃	2	〃	吉岡					2				
		法学演習Ⅱ	〃	2	〃	吉岡						2			
		国際関係論演習Ⅰ	〃	2	〃	高橋					2				
		国際関係論演習Ⅱ	〃	2	〃	高橋						2			
		欧米社会経済思想史演習Ⅰ	〃	2	〃	諸泉					2				
		欧米社会経済思想史演習Ⅱ	〃	2	〃	諸泉						2			
		倫理学演習Ⅰ	〃	2	〃	後藤					2				
		倫理学演習Ⅱ	〃	2	〃	後藤						2			
		西洋古代哲学演習Ⅰ	〃	2	〃	山本					2				
		西洋古代哲学演習Ⅱ	〃	2	〃	山本						2			
		美学演習Ⅰ	〃	2	〃	相澤					2				
		美学演習Ⅱ	〃	2	〃	相澤						2			
		美学外書講読Ⅰ	〃	2	〃	相澤	2								
		美学外書講読Ⅱ	〃	2	〃	相澤		2							
	科目	(欧米の文学)													
		近代欧米文学論Ⅱ	選	2	講義	早瀬					2			4単位まで累積可 開講未定 開講未定	
		イギリス文学Ⅰ	〃	2	〃	山中			2						
		イギリス文学Ⅱ	〃	2	〃	(朱雀)					2				
		イギリス文学Ⅲ	〃	2	〃	木原						2			
		アメリカ文学Ⅰ	〃	2	〃	鈴木			2						
		アメリカ文学Ⅱ	〃	2	〃	名本						2			
		英米文学講読Ⅰ	〃	1	演習	木原	2								
		英米文学講読Ⅱ	〃	1	〃	山中		2							
		英米文学講読Ⅲ	〃	1	〃	名本			2						
		英米文学講読Ⅳ	〃	1	〃	鈴木				2					
		英文学史Ⅰ	〃	2	講義	(朱雀)					2				
		英文学史Ⅱ	〃	2	〃	(朱雀)						2			
		中世英文学	〃	2	〃	山中						2			

科目区分		授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
							1年		2年		3年		4年		
							前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	選	英米文学理論演習	選	2	演習	(未定)					2			4単位まで累積可	
		英文学演習Ⅰ	〃	1	〃	名本				2				2単位まで累積可 2単位まで累積可	
		英文学演習Ⅱ	〃	1	〃	鈴木					2				
		英文学演習Ⅲ	〃	1	〃	山中						2			
		英文学演習Ⅳ	〃	1	〃	山中				2					
		英文学演習Ⅴ	〃	1	〃	木原					2				
		ドイツ文学史	〃	2	講義	(重竹)				2					
		ドイツ文学	〃	2	〃	(重竹)				2					
		フランス文学史	〃	2	〃	古賀豊				2					
		フランス文学Ⅰ	〃	2	〃	(未定)				2					
		フランス文学Ⅱ	〃	2	〃	古賀豊					2				
		フランス文学理論演習	〃	2	演習	相野						2		4単位まで累積可	
		修	(欧米の言語・文化)												
			英語史Ⅰ	選	2	講義	(田中俊)						2		偶数年度開講
	英語史Ⅱ		〃	2	〃	(田中俊)						2			
	古英語初歩		〃	2	〃	ジェンバー					2				
	英語学概論Ⅰ		〃	2	〃	田中彰					2				
	英語学概論Ⅱ		〃	2	〃	田中彰						2		4単位まで累積可 開講未定	
	英語音声学Ⅰ		〃	2	〃	田中彰			2						
	英語音声学Ⅱ		〃	2	〃	田中彰				2					
	異文化間コミュニケーション論		〃	2	〃	中村嘉				2					
	対照言語学		〃	2	〃	熊本					2				
	英語音声学演習Ⅰ		〃	1	演習	中村嘉			2						
	英語音声学演習Ⅱ		〃	1	〃	小野			2						
	英語音声学演習Ⅲ		〃	1	〃	小野				2					
	日英比較音韻論		〃	2	講義	小野					2				
	英文法演習Ⅰ		〃	1	演習	田中彰			2						
	英文法演習Ⅱ		〃	1	〃	田中彰				2					
	英文法演習Ⅲ		〃	1	〃	(未定)					2				
	英語学演習Ⅰ		〃	1	〃	熊本				2					
	英語学演習Ⅱ		〃	1	〃	小野					2				
	英語学演習Ⅲ		〃	1	〃	(未定)						2			
	日英異文化コミュニケーションⅠ		〃	2	〃	小野					2				
	日英異文化コミュニケーションⅡ		〃	2	〃	ジェンバー						2			
	英語オーラルコミュニケーションⅠ		〃	1	〃	Z.ミッチェル	2								
	英語オーラルコミュニケーションⅡ		〃	1	〃	Z.ミッチェル		2							
	英語オーラルコミュニケーションⅢ		〃	1	〃	Z.ミッチェル			2						
	英語パブリックスピーキングⅠ		〃	1	〃	Z.ミッチェル							2		
	英語パブリックスピーキングⅡ		〃	1	〃	Z.ミッチェル								2	
	英語論文構成Ⅰ		〃	1	〃	Z.ミッチェル					2				
	英語論文構成Ⅱ		〃	1	〃	Z.ミッチェル						2			
	英作文演習Ⅰ		〃	1	〃	ジェンバー			2						
	英作文演習Ⅱ		〃	1	〃	ジェンバー				2					
	資格英語Ⅰ		〃	1	〃	名本				2					
	資格英語Ⅱ		〃	1	〃	熊本					2				
	ドイツ語表現論		〃	2	講義	吉中						2			
	ドイツ語文法論		〃	2	〃	吉中							2		
	比較文化論演習		〃	2	演習	相野						2			
	欧米文化論		〃	2	講義	木原						2			
	異文化理解Ⅰ		〃	1	演習	Z.ミッチェル						2			
	異文化理解Ⅱ		〃	1	〃	Z.ミッチェル							2		
	異文化理解Ⅲ		〃	1	〃	Z.ミッチェル								2	
	ジェンダー学入門	〃	2	講義	(朱雀)		2								
	ジェンダー学	〃	2	講義	(朱雀)			2							
	英米文化事情Ⅰ	〃	1	演習	Z.ミッチェル				2						
	英米文化事情Ⅱ	〃	1	〃	Z.ミッチェル					2					

科目区分		授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
							1年	2年	3年	4年					
							前	後	前	後	前	後	前	後	
専門科目	選択科目	現代イギリス事情	選	2	講義	木原	2							開講未定 4単位まで累積可 開講未定	
		アメリカ文化論	〃	2	〃	鈴木				2					
		現代ドイツ事情Ⅰ	〃	2	〃	吉中	2								
		現代ドイツ事情Ⅱ	〃	2	〃	エーベル			2						
		日独異文化間コミュニケーション論	〃	2	〃	吉中		2							
		ドイツ文化論Ⅰ	〃	2	〃	(塚)	集(30)								
		ドイツ文化論Ⅱ	〃	2	〃	(塚)	集(30)								
		現代フランス事情	〃	2	〃	古賀豊	2								
		フランス文化論	〃	2	〃	(未定)			2						
		ジャーナリズム論	〃	2	〃	(酒井)				2					
		欧米文化論演習Ⅰ	〃	1	演習	鈴木	2								
		欧米文化論演習Ⅱ	〃	1	〃	名本	2								
		欧米文化論演習Ⅲ	〃	1	〃	熊本			2						
		欧米文化論演習Ⅳ	〃	1	〃	(未定)				2					
		必修科目	(その他)												偶数年度開講 奇数年度開講
			社会学要論	選	2	講義	田中豊			2					
			環境と人間の組織社会学	〃	2	〃	田中豊					2			
			社会調査実習	〃	2	実習	田中豊					4			
			都市システム論	〃	2	講義	山下					2			
			日本の地理と風土	〃	2	〃	山下	2							
			人文地理学	〃	2	〃	藤永			2					
			自然地理学	〃	2	〃	藤永				2				
			世界地誌	〃	2	〃	藤永						2		
			集落実地調査	〃	2	実習	藤永			集(60)					
			地理学フィールドワーク実習	〃	2	〃	山下					集(60)			
	アジア経済論		〃	2	講義	張	2								
	国際経済論		〃	2	〃	張				2					
	日本史上の市(いち)と都市		〃	2	〃	宮島				2					
	近代日本の社会と国家		〃	2	〃	鬼嶋				2					
	日本史要説		〃	2	〃	宮島			2						
	日本社会経済史		〃	2	〃	宮島				2					
	文献資料・遺構にみる交流の考古学		〃	2	〃	重藤					2				
	古墳文化研究演習Ⅰ		〃	2	演習	重藤					2				
	古墳文化研究演習Ⅱ		〃	2	〃	重藤						2			
	日本前近代史演習Ⅰ		〃	2	〃	宮島					2				
	日本前近代史演習Ⅱ		〃	2	〃	宮島						2			
	日本近現代史		〃	2	講義	宮島、鬼嶋			2						
	日本近現代史演習Ⅰ		〃	2	演習	宮島、鬼嶋					2				
	日本近現代史演習Ⅱ		〃	2	〃	宮島、鬼嶋						2			
	東南アジアの国家と社会		〃	2	講義	山崎			2						
	東南アジア学演習Ⅰ		〃	2	演習	山崎					2				
	東南アジア学演習Ⅱ		〃	2	〃	山崎						2			
	日中交渉史		〃	2	講義	佐々木				2					
	東洋史要説		〃	2	〃	佐々木			2						
	東アジア国際関係史		〃	2	〃	佐々木		2							
	朝鮮史		〃	2	〃	永島	2								
	東洋史演習Ⅰ		〃	2	演習	佐々木					2				
	東洋史演習Ⅱ		〃	2	〃	佐々木						2			
	東南アジア国際関係論	〃	2	講義	山崎		2								
	政治学	〃	2	〃	森			2							
	国際政治学要論	〃	2	〃	山崎				2						
	朝鮮政治文化論	〃	2	〃	森				2						
	朝鮮現代政治史	〃	2	〃	森				2						
	日本語教育概論	〃	2	〃	(下条, 山田)		2								
	日本語教授法Ⅰ	〃	2	〃	(横溝)				2						
	日本語教授法Ⅱ	〃	2	〃	(横溝)					2					
	日本語教育実習	〃	4	実習	(横溝)					4					
	日蘭文化交流史論	〃	2	講義	(青木)			2							
	西日本地域史論	〃	2	〃	(伊藤)				2						
小計				26	集()の()内の数字は、集中講義の時間数を表す										
自由選択科目				25	本表のほかに、本学部及び他学部の専門教育科目並びに共通専門教育科目並びに本学部の教育免許状取得のための科目のうちから履修することができる。なお、別表ⅣBの専門基礎科目の選択必修の分(「現代教育論」以下)、専門科目のうちの専門外国語科目及び選修科目(選択必修、選択)で、卒業に必要な単位を超えて修得した単位は、自由選択科目の単位とすることができる。										
卒業研究			必	6											
合計				91											

別表ⅤA(第4条第4項関係)
人間環境課程専門教育科目(生活・環境・技術選修)

人間環境課程等専門教育科目（生活・環境・経済）						週当たりの時間数								備考
科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	1 年		2 年		3 年		4 年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
専 門 基 礎 科 目	現代教育論	選必	2	講義	松下, 川上	2								112,113 奇数クラス 偶数クラス 112,113
	教育心理学	"	2	"	池田			2						
	教育心理学	"	2	"	大元			2						
	国際文化論	"	2	"	今野, 山本			2						
	生活文化論	"	2	"	田中豊		2							
	実践英語	"	2	演習	(Angove)	2								
	実践英語	"	2	"	(Bowman)他		2							
小 計			6											
課程共通科目	生活経営論	選必	2	講義	赤星			2						
	自然環境論	"	2	"	中村聡, 中島	2						2		
小 計			4											
専門外国語科目	専門教育外国語Ⅰ	必	1	演習	(サコビッチ)他			2						A群を選択する者
	専門教育外国語Ⅱ	A必	1	"	澤島・藤永・重藤				2					
	専門教育外国語Ⅱ	B必	1	"	環境基礎全教員						2			B群を選択する者
	小 計			2										
情報処理科目	情報処理演習Ⅰ	A必	2	演習	山下		2							選修必修科目として、A群を選択する者は「情報処理演習ⅡA」を、B群を選択する者は「情報処理演習ⅡB」を修得しなければならない。
	情報処理演習Ⅰ	B必	2	"	中島		2							
	情報処理演習ⅡA	A必	2	"	澤島				2					
	情報処理演習ⅡB	B必	2	"	中島				2					
	小 計			4										
専門選択科目	(A群必修科目)													選修必修科目として、A群又はB群(選択必修6単位を含む)から12単位を修得しなければならない。12単位を超えて修得した単位は、選修選択科目の単位数に含めることができる。
	生活環境概説	A必	2	講義	澤島, 重藤		2							
	生活経済学	"	2	"	赤星					2				
	住宅デザイン論	"	2	"	澤島					2				
	日本の地理と風土	"	2	"	山下	2								
	被服衛生学	"	2	"	甲斐				2					
	食文化論	"	2	"	水沼	2								B群を選択する者は、「B必」の6単位と「B選必」の中から6単位選択必修し、合わせて12単位を修得すること。 6
	(B群必修科目)													
	環境・技術セミナー	B必	2	演習	環境基礎全教員					2				
	環境問題と対策	"	2	講義	張本	2								
	環境情報処理論	"	2	"	大隅	2								
	水と空気の運動学	B選必	2	"	中村聡		2							
	物質環境科学	"	2	"	岡島		2							
	生命科学	"	2	"	嬉			2						
	地球環境科学	"	2	"	高島				2					
	ヒューマンエレクトロニクスⅠ	"	2	"	角, 中村隆				2					
エネルギー環境論	"	2	"	中村聡, 小野文					2					
小 計			12											
専門科目	(A群関連科目)													奇数年度開講 9月前半に家庭介護の集中講義と保育実習あり 偶数年度開講
	人文地理学	選	2	講義	藤永			2						
	世界地誌	"	2	"	藤永						2			
	都市システム論	"	2	"	山下					2				
	地理情報システム演習	"	2	演習	山下					2				
	人文地理学実験実習	"	2	実験	山下						4			
	自然地理学	"	2	講義	藤永				2					
	集落地地調査	"	2	実習	藤永			集(60)						
	地理学フィールドワーク実習	"	2	"	山下					集(60)				
	人文地理学演習	"	2	演習	山下						2			
	地誌学演習	"	2	"	藤永					2				
	日本考古学の方法と理論	"	2	講義	重藤			2						
	文献資料・遺構にみる交流の考古学	"	2	講義	重藤					2				
	北部九州地域論Ⅰ(古代)	"	2	"	重藤				2					
	北部九州地域論Ⅱ(現代)	"	2	"	藤永					2				
	考古学実習Ⅰ	"	2	実習	重藤				4					
	考古学実習Ⅱ	"	2	"	重藤					集(60)				
	古墳文化研究演習Ⅰ	"	2	演習	重藤					2				
	古墳文化研究演習Ⅱ	"	2	"	重藤						2			
	文化財の保存と活用	"	2	講義	重藤				2					
	社会学要論	"	2	講義	田中豊			2						
	環境と人間の組織社会学	"	2	"	田中豊						2			
	社会調査実習	"	2	実習	田中豊						4			
	アジア社会論	"	2	講義	田中豊他					2				
	現代社会の家族	"	2	"	赤星					2				
	老年家族学	"	2	"	赤星							2		
	保育学Ⅰ	"	2	講・実	中西, (幸松)		2							
	保育学Ⅱ	"	2	講義	中西							2		
	衣生活材料学	"	2	"	(長山)			集(30)						

科目区分		授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
							1 年		2 年		3 年		4 年		
							前	後	前	後	前	後	前	後	
専 門 科 目	選 修 目	住環境材料工学	選	2	講義	小野文					2			偶数年度開講 偶数年度開講	
		生活環境電磁気学	〃	2	〃	角	2								
		環境電気機器概論	〃	2	〃	松本					2				
環境電気機器実験	〃	2	実験	松本						4					
ヒューマンエレクトロニクスⅡ	〃	2	講義	松本			2								
ヒューマンエレクトロニクス実験	〃	2	実験	中村隆				4							
プログラミング演習Ⅰ	〃	2	演習	小野文					2						
プログラミング演習Ⅱ	〃	2	〃	角						2					
		就業体験実習	〃	2	実習	岡島他					集又は集				
		(社会福祉関連科目)											B群選択者 (前期又は後期集中)		
		心理学理論と心理的支援	〃	2	講義	大元				2					
		社会理論と社会システム	〃	2	〃	(未定)				2			Ⅰ,Ⅱの順に履修すること		
		現代社会と福祉Ⅰ	〃	2	〃	北川	2								
		現代社会と福祉Ⅱ	〃	2	〃	北川		2					Ⅰ,Ⅱの順に履修すること		
		社会調査の基礎	〃	2	〃	田中豊				2					
		社会保障Ⅰ	〃	2	〃	北川			2				Ⅰ,Ⅱの順に履修すること		
		社会保障Ⅱ	〃	2	〃	北川				2					
		福祉行財政と福祉計画Ⅰ	〃	2	〃	(未定)						2	Ⅰ,Ⅱの順に履修すること		
		福祉行財政と福祉計画Ⅱ	〃	2	〃	(未定)						2			
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	〃	2	〃	北川	2						Ⅰ,Ⅱの順に履修すること		
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	〃	2	〃	北川		2							
		就労支援サービス	〃	1	〃	(未定)						1	隔年偶数年度開講 隔年奇数年度開講 隔年偶数年度開講		
		福祉サービスの組織と経営	〃	1	〃	(未定)						1			
		権利擁護と成年後見制度	〃	1	〃	(未定)							1		
		更正保護制度	〃	1	〃	(未定)									
		低所得者に対する支援と生活保護制度	〃	2	〃	(田畑)			集(30)				隔年偶数年度開講 隔年奇数年度開講 隔年偶数年度開講		
		保健医療サービス	〃	2	〃	久野		2							
		人体の構造と機能及び疾病	〃	2	〃	藤田一			2				Ⅰ,Ⅱの順に履修すること		
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	〃	2	〃	松山, 山津	2								
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	〃	2	〃	北川			2				Ⅰ,Ⅱの順に履修すること		
		地域福祉の理論と方法Ⅰ	〃	2	〃	松山			2						
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	〃	2	〃	松山				2			Ⅰ,Ⅱの順に履修すること		
		相談援助の基盤と専門職Ⅰ	〃	2	〃	松山				2					
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ	〃	2	〃	(未定)					2		Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳの順に履修すること		
		相談援助の理論と方法Ⅰ	〃	2	〃	松山			2						
		相談援助の理論と方法Ⅱ	〃	2	〃	松山				2			Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴの順に履修すること		
		相談援助の理論と方法Ⅲ	〃	2	〃	松山				2					
		相談援助の理論と方法Ⅳ	〃	2	〃	松山					2		Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴの順に履修すること		
		相談援助演習Ⅰ	〃	2	演習	松山			2						
		相談援助演習Ⅱ	〃	2	〃	(滝口)				2			Ⅰ,Ⅱの順に履修すること		
		相談援助演習Ⅲ	〃	2	〃	(硯川)					2				
		相談援助演習Ⅳ	〃	2	〃	松山						2	Ⅰ,Ⅱの順に履修すること		
		相談援助演習Ⅴ	〃	2	〃	松山						2			
		相談援助実習指導Ⅰ	〃	1	実習	山津, 松山					3		Ⅰ,Ⅱの順に履修すること		
		相談援助実習指導Ⅱ	〃	1	〃	山津, 松山						3			
		相談援助実習	〃	4	〃	山津, 北川				集(180)					
		小 計		39	集()の()内の数字は,集中講義の時間数を表す										
		自由選択科目		18	本表のほかに,本学部及び他学部の専門教育科目並びに共通専門教育科目並びに本学部の教員免許状取得のための科目のうちから履修することができる。										
		卒業研究	必	6											
		合 計		91											

別表VB(第4条第4項関係)

人間環境課程専門教育科目(健康福祉・スポーツ選修)

科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
						1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	
専 基 科	現代教育論	選必	2	講義	松下, 川上	2								112,113 奇数クラス 偶数クラス 112,113
	教育心理学	〃	2	〃	池田			2						
専 基 科	教育心理学	〃	2	〃	大元			2						112,113
	国際文化論	〃	2	〃	今野, 山本			2						
専 基 科	生活文化論	〃	2	〃	田中豊		2							112,113
	実践英語	〃	2	演習	(Angove)	2								
専 基 科	実践英語	〃	2	〃	(Bowman)他		2							112,113
	小 計		6											
専 門 基 礎 科	生活経営論	選必	2	講義	赤星			2						
	自然環境論	〃	2	〃	中村聡, 中島	2								
専 門 基 礎 科	健康福祉論	〃	2	〃	江崎, 山津					2				
	小 計		4											
専 門 外 国 語 科 目	専門教育外国語Ⅰ	必	1	演習	(サコビッチ)他			2						
	専門教育外国語Ⅱ	〃	1	〃	金崎他				2					
専 門 外 国 語 科 目	小 計		2											
	情報処理演習Ⅰ	必	2	演習	井上伸		2							
専 門 外 国 語 科 目	情報処理演習ⅡC	〃	2	〃	井上伸					2				
	小 計		4											
専 門 選 修 科 目	健康教育概論	必	2	講義	栗原, (照屋)		2							選択必修科目の 理論は10科目から 6単位取得、実技 はA～Eの3グ ループ以上から5 単位以上取得しな ければならない。 6 Ⅰ,Ⅱの順に履修すること Ⅰ,Ⅱの順に履修すること
	医療ソーシャルワーク	〃	2	〃	北川			集(30)						
専 門 選 修 科 目	運動生理学	〃	2	〃	江崎, (未定)				2					A1 体づくり運動 A2 体操競技 A3 水泳 隔年奇数年度開講 A4 陸上競技 隔年奇数年度開講
	体育原理	選必	2	〃	金崎					2				
専 門 選 修 科 目	レクリエーション概論	〃	2	〃	松山				2					B1 バスケットボール B2 サッカー B3 バレーボール B4 ラグビー 隔年奇数年度開講
	運動学	〃	2	〃	池上					2				
専 門 選 修 科 目	トレーニング科学	〃	2	〃	池上						2			C1 ダンス C2 テニス C3 柔道 C4 剣道 隔年偶数年度開講
	スポーツ経営学	〃	2	〃	坂元			2						
専 門 選 修 科 目	精神保健	〃	2	〃	栗原					2				D1 スキー 隔年奇数年度開講 D3 ゴルフ 隔年奇数年度開講 D4 野外活動実習 Ⅱ A3海洋スポーツ 隔年偶数年度開講
	現代社会と福祉Ⅰ	〃	2	〃	北川	2								
専 門 選 修 科 目	現代社会と福祉Ⅱ	〃	2	〃	北川		2							D1 スキー 隔年奇数年度開講 D3 ゴルフ 隔年奇数年度開講 D4 野外活動実習 Ⅱ A3海洋スポーツ 隔年偶数年度開講
	地域福祉の理論と方法Ⅰ	〃	2	〃	松山				2					
専 門 選 修 科 目	地域福祉の理論と方法Ⅱ	〃	2	〃	松山					2				D1 スキー 隔年奇数年度開講 D3 ゴルフ 隔年奇数年度開講 D4 野外活動実習 Ⅱ A3海洋スポーツ 隔年偶数年度開講
	(Aグループ)													
専 門 選 修 科 目	スポーツⅠA1	選必	1	実技	福本, 堤				2					A1 体づくり運動 A2 体操競技 A3 水泳 隔年奇数年度開講 A4 陸上競技 隔年奇数年度開講
	スポーツⅠA2	〃	1	〃	福本	2								
専 門 選 修 科 目	スポーツⅠA3	〃	1	〃	山津	2								B1 バスケットボール B2 サッカー B3 バレーボール B4 ラグビー 隔年奇数年度開講
	スポーツⅠA4	〃	1	〃	池上, (八嶋)	2								
専 門 選 修 科 目	(Bグループ)													C1 ダンス C2 テニス C3 柔道 C4 剣道 隔年偶数年度開講
	スポーツⅠB1	選必	1	実技	栗原	2		累積可						
専 門 選 修 科 目	スポーツⅠB2	〃	1	〃	坂元				2					D1 スキー 隔年奇数年度開講 D3 ゴルフ 隔年奇数年度開講 D4 野外活動実習 Ⅱ A3海洋スポーツ 隔年偶数年度開講
	スポーツⅠB3	〃	1	〃	池上					2				
専 門 選 修 科 目	スポーツⅠB4	〃	1	〃	栗原, (下園)		集(30)							D1 スキー 隔年奇数年度開講 D3 ゴルフ 隔年奇数年度開講 D4 野外活動実習 Ⅱ A3海洋スポーツ 隔年偶数年度開講
	(Cグループ)													
専 門 選 修 科 目	スポーツⅠC1	選必	1	実技	福本, 堤		2							D1 スキー 隔年奇数年度開講 D3 ゴルフ 隔年奇数年度開講 D4 野外活動実習 Ⅱ A3海洋スポーツ 隔年偶数年度開講
	スポーツⅠC2	〃	1	〃	金崎					2				
専 門 選 修 科 目	スポーツⅠC3	〃	1	〃	江崎				2					D1 スキー 隔年奇数年度開講 D3 ゴルフ 隔年奇数年度開講 D4 野外活動実習 Ⅱ A3海洋スポーツ 隔年偶数年度開講
	スポーツⅠC4	〃	1	〃	江崎, (池田孝)		2							
専 門 選 修 科 目	(Dグループ)													D1 スキー 隔年奇数年度開講 D3 ゴルフ 隔年奇数年度開講 D4 野外活動実習 Ⅱ A3海洋スポーツ 隔年偶数年度開講
	スポーツⅠD1	選必	1	実技	栗原, 井上伸, 山津		集(30)							
専 門 選 修 科 目	スポーツⅠD3	〃	1	〃	江崎						2			D1 スキー 隔年奇数年度開講 D3 ゴルフ 隔年奇数年度開講 D4 野外活動実習 Ⅱ A3海洋スポーツ 隔年偶数年度開講
	スポーツⅠD4	〃	1	〃	栗原						2			
専 門 選 修 科 目	スポーツⅡA3	〃	1	〃	山津			集(30)						D1 スキー 隔年奇数年度開講 D3 ゴルフ 隔年奇数年度開講 D4 野外活動実習 Ⅱ A3海洋スポーツ 隔年偶数年度開講
	(Eグループ)													
専 門 選 修 科 目	レクリエーション実習	選必	2	実技	松山						4			D1 スキー 隔年奇数年度開講 D3 ゴルフ 隔年奇数年度開講 D4 野外活動実習 Ⅱ A3海洋スポーツ 隔年偶数年度開講
	フィットネス	〃	1	〃	池上, (未定)						2			
専 門 選 修 科 目	ヘルスプロモーション実習Ⅰ	〃	1	〃	井上伸	2								D1 スキー 隔年奇数年度開講 D3 ゴルフ 隔年奇数年度開講 D4 野外活動実習 Ⅱ A3海洋スポーツ 隔年偶数年度開講
	ヘルスプロモーション実習Ⅱ	〃	1	〃	井上伸						2			

科目区分		授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
							1年		2年		3年		4年		
							前	後	前	後	前	後	前	後	
専 門 科 目	修 目	《スポーツ実技科目》													
		スポーツⅡA1	選	1	実技	(田口)				2					隔年偶数年度開講
		スポーツⅡA2	〃	1	〃	福本		2							隔年奇数年度開講
		スポーツⅡA4	〃	1	〃	(八嶋)				2					隔年奇数年度開講
		スポーツⅡB2	〃	1	〃	坂元						2			隔年偶数年度開講
		スポーツⅡB3	〃	1	〃	池上						2			隔年偶数年度開講
		スポーツⅡC1	〃	1	〃	堤				集(30)					隔年偶数年度開講
		スポーツⅡC3	〃	1	〃	江崎					2				隔年奇数年度開講
		《スポーツ演習科目》													
		スポーツA1演習	選	2	演習	(田口)						2			隔年奇数年度開講
		スポーツA2演習	〃	2	〃	福本						2			隔年偶数年度開講
		スポーツA3演習	〃	2	〃	山津							2		2 隔年偶数年度開講
		スポーツA4演習	〃	2	〃	(八嶋)						2			隔年偶数年度開講
		スポーツB2演習	〃	2	〃	坂元					2				隔年偶数年度開講
		スポーツB3演習	〃	2	〃	池上						2			隔年奇数年度開講
		スポーツC1演習	〃	2	〃	堤						2			隔年偶数年度開講
		スポーツC3演習	〃	2	〃	江崎					2				隔年偶数年度開講
		スポーツD4演習	〃	2	〃	栗原				集(30)					隔年奇数年度開講
		《スポーツ理論科目》													
		スポーツ測定評価	選	2	講義	坂元							2		
		運動処方	〃	2	〃	(熊谷),(馬渡)						2			
		解剖・生理学	〃	2	〃	(西田),(川久保)				2					
		衛生・公衆衛生学	〃	2	〃	(照屋)					2				
		学校保健	〃	2	〃	栗原						2			
		安全教育	〃	2	〃	栗原			2						
		健康教育各論(性教育)	〃	2	〃	栗原			2						
		野外活動概論	〃	2	〃	栗原				2				2	
		スポーツ工学	〃	2	〃	井上伸							2		
		バイオメカニクス	〃	2	〃	井上伸								2	
		スポーツ文化論	〃	2	〃	金崎				2					
		生涯スポーツ論	〃	2	〃	金崎				2					隔年奇数年度開講
		スポーツ社会学	〃	2	〃	金崎				2					隔年偶数年度開講
		スポーツ行政	〃	2	〃	(山本)	集(30)								隔年偶数年度開講
		スポーツ心理学	〃	2	〃	山津						2			
		トレーニング理論・実習	〃	2	演習	池上,(木道)	2								
		コーチング理論・実習	〃	2	〃	池上						2			
		スポーツ医学	〃	2	講義	(馬渡他)						集(30)			隔年奇数年度開講
		救急処置	〃	2	〃	(平川他)						2			隔年奇数年度開講
		栄養学	〃	2	〃	水沼					2				

科目区分		授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
							1年	2年	3年	4年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
							前	後	前	後	前	後	前	後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
専門科目	選択科目	《健康福祉関連科目》																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

別表Ⅵ(第4条第5項関係)
美術・工芸課程専門教育科目

美術・工芸課程専門教育科目					週当たりの時間数								備考		
科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	1年	2年	3年	4年						
						前	後	前	後		前	後		前	後
専基科	現代教育論	選必	2	講義	川上, 松下	2							111,114		
	教育心理学	"	2	"	池田			2					奇数クラス		
	教育心理学	"	2	"	大元			2					偶数クラス		
	国際文化論	"	2	"	今野, 山本				2				111,114		
	生活文化論	"	2	"	田中豊		2								
	実践英語	"	2	演習	(Angove)	2									
	実践英語	"	2	"	(Bowman)他		2								
小計			6												
専門科	課程 共通 科目	世界の美術	選必	2	講義	吉住		2							
		工芸理論	"	2	"	田中嘉			2						
		デザイン理論	"	2	"	荒木				2					
	小計			4											
	教育 科目	教育方法学概説	選必	2	講義	園田				2					
		社会教育概論Ⅰ	"	2	"	上野				2					
		人権教育論	"	2	"	松下				2					
		心の健康	"	2	"	網谷	2								
	小計			4											
	専門 外国 語科 目	専門教育外国語Ⅰ	必	1	演習	(キネイン)他			2						
		専門教育外国語Ⅱ	"	1	"	吉住他				2					
		小計			2										
	専 門 科 目	選 修 目	日本画	必	2	実習	牛塚	2							奇数学生は4, 5月, 偶数学生は6, 7月
			西洋画	"	2	"	小木曾	2							奇数学生は4, 5月, 偶数学生は6, 7月
			素描Ⅰ	"	2	実習	牛塚, 小木曾	4							
			素描Ⅱ	"	2	"	牛塚, 小木曾		4						
			彫刻	"	2	実習	徳安	2							奇数学生は6, 7月, 偶数学生は4, 5月
			デザイン	"	2	演習	荒木		2						
			図法Ⅰ	"	2	"	田中右		2						
			窯芸	"	2	実習	田中右	2							奇数学生は6, 7月, 偶数学生は4, 6月
木工工芸			"	2	"	井川	2							奇数学生は6, 7月, 偶数学生は4, 5月	
染織工芸			"	2	"	田中嘉	2							奇数学生は4, 5月, 偶数学生は6, 7月	
中等美術科教育法Ⅰ			"	2	講義	前村				2					
工芸科教育法Ⅰ			"	2	"	前村				2					
小計			24												
科 目		基礎日本画 応用日本画 日本画概論 日本画特別実習 総合芸術学習(日本画)	A	選	2	実習	牛塚		4						累積6単位まで可
			"	"	2	"	牛塚			4					累積4単位まで可
			"	"	2	講義	(未定)					2			累積4単位まで可
			"	"	2	実習	(未定)					集(60)			
			"	"	2	実習	牛塚 他					2	2		累積4単位まで可
		基礎西洋画 応用西洋画 素描Ⅲ 西洋画特別実習 グラフィックス 総合芸術学習(西洋画)	B	選	2	実習	小木曾		4						累積6単位まで可
			"	"	2	"	小木曾			4					累積4単位まで可
	"		"	2	"	(未定)					集(60)				
	"		"	2	"	(未定)					集(60)				
	"		"	2	"	(未定)					集(60)				
	基礎彫刻 基礎彫刻 応用彫刻 彫刻概論 総合芸術学習(彫塑) 彫刻特別実習	C	選	2	実習	徳安		4						累積4単位まで可	
		"	"	2	"	徳安			4					偶数クラス累積6単位まで可	
		"	"	2	"	徳安								奇数クラス累積6単位まで可	
		"	"	2	講義	(未定)						2		累積4単位まで可	
		"	"	2	実習	徳安 他					2	2		累積4単位まで可	
		"	"	2	実習	(未定)					集(60)				
		小計			24										
		小計			24										

科目区分		授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数				備考		
							1年	2年	3年	4年			
							前	後	前	後		前	後
専門科目	必修	応用美術理論	選	2	講義	吉住		2				累積4単位まで可(「世界の美術」を履修していることが望ましい)	
		総合美術理論 (美術理論)	〃	2	〃	吉住				2			
		基礎美術理論演習	〃	2	演習	吉住		2					
		応用美術理論演習	〃	2	〃	吉住		2					
		総合美術理論演習	〃	2	〃	吉住			2				
		美術理論特別講義	〃	2	講義	(未定)			集(30)				
		総合芸術学習 (美術理論)	〃	2	実習	吉住 他			2	2			
		博物館学Ⅰ	〃	2	講義	(小坂)	集(30)	集(30)					
		博物館学Ⅱ	〃	2	〃	(宇治)	集(30)						
		博物館学Ⅲ	〃	2	〃	(中尾)	集(30)						
	博物館実習	〃	3	実習	吉住				2				
	選択	基礎デザイン	選	2	実習	荒木, 栗山		4				偶数クラス 奇数クラス	
		基礎デザイン	〃	2	〃	荒木, 栗山		4					
		応用デザイン	〃	2	〃	荒木			4				
		総合デザイン (デザイン)	〃	2	〃	荒木				4			
		デザイン特別実習	〃	2	〃	(未定)			4				
		製図	〃	2	演習	(阿部)			2				
		図法Ⅱ	〃	2	〃	(未定)			2				
		総合芸術学習 (デザイン)	〃	2	実習	荒木 他			2	2			
		必修	基礎窯芸	選	2	実習	田中右		4				累積4単位まで可
			応用窯芸	〃	2	〃	田中右		4				
	窯芸概論 (窯芸)		〃	2	講義	(未定)			2				
	窯芸特別実習		〃	2	実習	(未定)			4				
	陶磁特別演習Ⅰ		〃	2	演習	(未定)			集(30)				
	陶磁特別演習Ⅱ		〃	2	〃	(今泉)			集(30)				
	総合芸術学習 (窯芸)		〃	2	実習	田中右 他			2	2			
	選択		基礎木工工芸	選	2	実習	井川		4				累積6単位まで可 累積4単位まで可
			応用木工工芸実習	〃	2	〃	井川		4				
			木工工芸総論 (木工工芸)	〃	2	講義	(未定)				2		
		木工工芸特別実習	〃	2	実習	(未定)				集(60)			
		応用木工工芸	〃	2	〃	井川			4				
		木工工芸概論	〃	2	講義	井川				2			
		総合芸術学習 (木工工芸)	〃	2	実習	井川 他			2	2			
		選択	基礎染織工芸	選	2	実習	田中嘉		4				累積6単位まで可 奇数年度開講
			応用染織工芸Ⅰ	〃	2	〃	田中嘉		4				
			応用染織工芸Ⅱ	〃	2	〃	田中嘉			4			
	染織工芸概論 (染織工芸)		〃	2	講義	(未定)				2			
	染織工芸特別実習		〃	2	実習	(未定)			集(60)				
	染織工芸特別実習		〃	2	〃	(未定)			集(60)				
	総合芸術学習 (染織工芸)		〃	2	実習	田中嘉 他			2	2			
必修	金工工芸	選	2	演習	(菅野)	集(30)					偶数クラス 奇数クラス		
	金工工芸	〃	2	〃	(菅野)	集(30)							
	基礎金工工芸 (金属工芸)	〃	2	実習	(宮田)		集(60)						
	応用金工工芸Ⅰ	〃	2	〃	(菅野)				集(60)				
	応用金工工芸Ⅱ	〃	2	〃	(菅野)				集(60)				
	総合金工工芸	〃	2	〃	(未定)			集(60)					
	金工工芸概論	〃	2	講義	(未定)			集(30)					
	金工工芸特別実習	〃	2	実習	(未定)			集(60)					
	＜共通科目＞												
	美術工芸学外実践活動	選	2	演習	選修担当教員				2	2	累積4単位まで可		
*美術・工芸課程, 美術・工芸選修, 学生の卒業研究の分野は, 上記のAからIまでの9つのグループに分けられる。また卒業研究の履修にあたっては希望分野を2年次始めまでに決めて, 3年次の後期終了までに, その分野から8単位以上を修得しておくことが望ましい。 *博物館学芸員資格取得を希望する者は、『博物館学Ⅰ～Ⅲ』(いずれも隔年開講)を必ず1年時から履修し始めること。博物館実習に行く前に『博物館学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ』を履修済でなければならない。 *博物館学Ⅲを履修する際には、博物館学Ⅰ、Ⅱのいずれかを履修済か、履修中であることが望ましい。 *応用木工工芸及び木工工芸概論は主として技術の免許取得科目。													
小計			25	集()の()内の数字は, 集中講義の時間数を表す									
自由選択科目			20	本表のほかに, 本学部及び他学部の専門教育科目並びに共通専門教育科目並びに本学部の教員免許状取得のための科目のうちから履修することができる。									
卒業研究			必	6									
合計				91									

別表Ⅶ(第4条第6項関係)
教員免許状取得のための科目

科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
幼稚園免許用	幼児教育課程論	自選	2	講義	(大元千)			2						偶数年度開講 奇数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講
	保育内容の研究(健康)	〃	2	〃	栗原						2			
	保育内容の研究(人間関係)	〃	2	〃	大元			2						
	保育内容の研究(環境Ⅰ)	〃	2	〃	世波					2				
	保育内容の研究(環境Ⅱ)	〃	2	〃	佐長					2				
	保育内容の研究(言葉)	〃	2	〃	(未定)					2				
	保育内容の研究(表現Ⅰ)	〃	2	〃	荒巻					2				
	保育内容の研究(表現Ⅱ)	〃	2	〃	前村			2						
	幼稚園教育実習	〃	5	実習										
中学校・高等学校免許用	教職概説	自選	2	講義	(竹熊)			2						経済・理工・農学部生用 文教学学校教育課程以外用 経済・理工・農学部生用 文教学学校教育課程以外用 経済・理工・農学部生用 文教学学校教育課程以外用・ 経済・理工・農学部生用 経済・理工・農学部生用 文教学学校教育課程以外用 経済・理工・農学部生用 経済・理工・農学部生用 経済・理工・農学部生用 経済・理工・農学部生用 地理教育 歴史教育 公民教育 公民教育 総論 総論 総論 理工・農学部用 総論 理工・農学部用 各論(物理関係) 各論(化学関係) 各論(生物関係) 各論(地学関係) 総論 各論 各論
	〃	〃	2	〃	園田		2							
	発達と教育の心理学	〃	2	〃	(池田久)			2						
	教育相談	〃	2	〃	網谷						2			
	〃	〃	2	〃	(池田久)					2				
	道德教育の研究	〃	2	〃	(生馬)					集(30)				
	教育基礎論	〃	2	〃	(竹熊)			2						
	特別活動の研究	〃	2	〃	倉本, 松下			2						
	〃	〃	2	〃	(生馬)					集(30)				
	生徒指導論	〃	2	〃	(大元千)					2				
	教育方法学概説	〃	2	〃	園田他			集(30)						
	教育課程論	〃	2	〃	(伊藤)					集(30)				
	中等国語科教育法Ⅰ	〃	2	演習	羽田					2				
	中等国語科教育法Ⅱ	〃	2	〃	羽田					2				
	中等国語科教育法Ⅲ	〃	2	〃	羽田						2			
	中等社会科教育法Ⅰ(社会・地歴)	〃	2	講義	佐長			2						
	中等社会科教育法Ⅱ(社会・地歴)	〃	2	〃	(未定)				2					
	中等社会科教育法Ⅲ(社会・公民)	〃	2	〃	(未定)					2				
	中等社会科教育法Ⅳ(社会・公民)	〃	2	〃	佐長						2			
	数学科教育法Ⅰ	〃	2	〃	井上正					2				
	数学科教育法Ⅱ	〃	2	〃	井上正, 瀧川						2			
	数学科教育法Ⅲ	〃	2	〃	井上正							2		
	中等理科教育法Ⅰ	〃	1	〃	佐藤					1				
	中等理科教育法Ⅱ	〃	1	〃	世波					1				
	中等理科教育法Ⅰ	〃	1	〃	佐藤					1				
	中等理科教育法Ⅱ	〃	1	〃	世波					1				
	中等理科教育法Ⅲ	〃	1	〃	中村聡						1			
	中等理科教育法Ⅳ	〃	1	〃	石原						1			
	中等理科教育法Ⅴ	〃	1	〃	嬉						1			
	中等理科教育法Ⅵ	〃	1	〃	角縁						1			
	中等音楽科教育法Ⅰ	〃	2	〃	山田					2				
	中等音楽科教育法Ⅱ	〃	2	演習	荒巻						2			
	中等美術科教育法Ⅱ	〃	2	講義	栗山				2					
	中等美術科教育法Ⅲ	〃	2	〃	前村						2			
	保健体育科教育法Ⅰ	〃	2	演習	福本				2					
	保健体育科教育法Ⅱ	〃	2	〃	福本						2			
	保健体育科教育法Ⅲ	〃	2	〃	栗原					2				

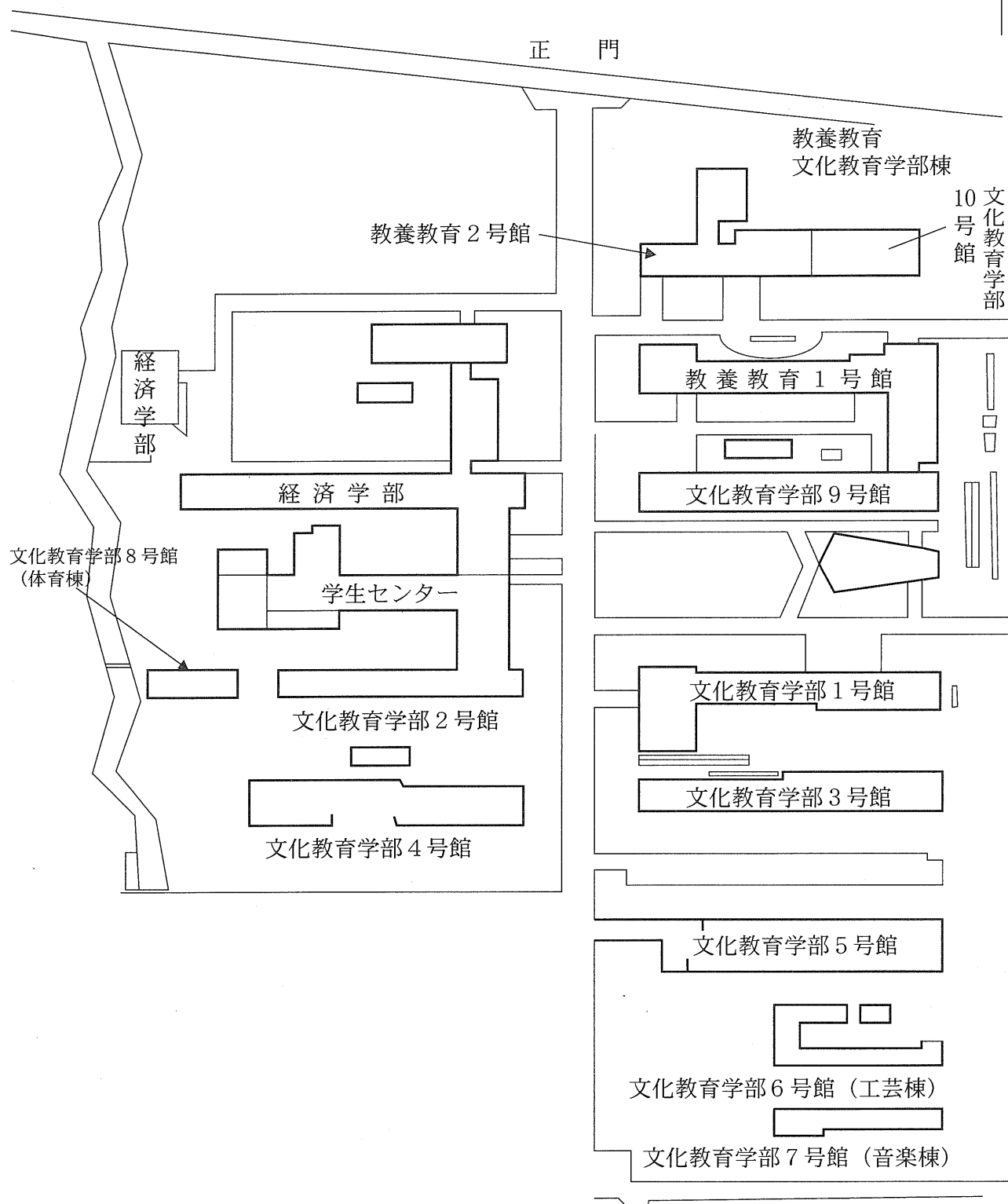
科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
						1年		2年		3年		4年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
						前	後	前	後	前	後	前	後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
中学校・高等学校 免許 用	中等家庭科教育法Ⅰ	自選	2	講義	中西			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

別表Ⅷ(第4条第9項関係)

外国人留学生特別科目

外国人留学生特別科目														
科目区分	授業科目	必修選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
						1 年		2 年		3 年		4 年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
自由選択科目	日本の文化と教育	選	2	講義	中尾			2						外国人留学生のみ履修できる。ただし、自由選択科目の一部となる。偶数年度開講

文化教育学部建物配置図



平成22年度 学年暦及び年間行事予定表

月	日	曜	学 年 暦	行 事
4	1	木	前学期始, 春季休業(4月7日まで)	新入学生健康診断(1, 2, 5日)
	2	金		学友会及びサークル紹介(1, 2, 5日)
	6	火	平成22年度入学式	前学期授業時間割発表
	7	水		学部オリエンテーション
7	9	金	前学期開講	
	16	金		月曜日の代替日
	27	火		前学期定期試験時間割発表
8	3	火		前学期定期試験(8月9日まで)
	11	水	夏季休業(9月30日まで)	大学説明会

月	日	曜	学 年 暦	行 事
9	24	金	平成22年度学位記授与式(9月期)	後学期授業時間割発表
	30	木	前学期終	
10	1	金	開学記念日, 後学期始, 後学期開講	
	4	月	平成22年度大学院入学式	
12	25	土	冬季休業(1月5日まで)	
	1	火		後学期定期試験時間割発表
2	3	木		月曜日の代替日
	8	火		後学期定期試験(2月15日まで)
3	24	木	平成22年度学位記授与式(3月期)	
	31	木	後学期終	

(参考) 平成23年度

7月30日・31日, 8月2日・10日, 12月24日,

1月28日, 2月4日・5日・7日・16日は予備日

4	1	金	前学期始, 春季休業(4月7日まで)	
	5	火	平成23年度入学式	
	6	水		学部オリエンテーション(予定)
	8	金	前学期開講(予定)	